

# 六 連合軍の進駐と降伏文書調印

## 1 連合軍の進駐

1202 昭和20年8月15日

米軍司令部と大本營との通信に関するマック  
ーサー書簡について

「マックアーサー」將軍ノ日本國大本營宛書翰

（千九百四十五年八月十五日二十二時三十五分）  
重慶放送

本職ハ合衆國、中華民國、聯合王國及「ソヴェト」社會主義共和國聯邦聯合國最高司令官ニ任命セラレ且出來得ル限り速カナル期日ニ於テ戰鬥行為ヲ停止スル爲直接日本國官憲トノ間ニ取極ヲ爲スノ權限ヲ賦與セラレタリ

米軍司令部ト貴國大本營トノ間ニ繼續的「ラヂオ」通信ヲ行フ爲東京地區ノ一「ラヂオ」放送局カ公式ニ指定セラレシコトヲ希望ス本書翰ニ對スル回答ニ於テ放送局名、記號

及波長ヲ通報セラレタシ「マニラ」ニ於ケル本職司令部ト

ノ「ラヂオ」通信ハ英文ニテ行ハレンコトヲ希望ス前述ノ目的ノ爲東京地區ノ一放送局カ指定セラルルニ至ル迄ノ間JUM放送局ノ波長一三七〇五「キロサイクル」カ此ノ目的ノ爲使用セラルヘク之ニ對シ在「マニラ」WTA放送局ハ一五九六五「キロサイクル」ノ波長ヲ以テ答フヘシ

本通報ヲ受領ノ節ハ其ノ旨確認セラレタシ

マックアーサー將軍

大日本帝國大本營 御中

1203

昭和20年8月16日 連合國最高司令官より  
天皇、日本政府、大本營宛（電報）

日本軍の戦闘行為停止とマニラへの代表者派

遣方指令

日本政府、大本營 8月16日着

來電第二號 （電報）

連合國最高指揮官發

日本 天皇

日本 政府 宛

日本 大本營

日本國天皇、日本國政府及日本國大本營ハ聯合國ノ降伏條件ヲ受諾セルニ因リ聯合國最高指揮官ハ茲ニ日本軍ニ依ル戦闘ノ即時停止ヲ命ス

右戰鬥行為停止ノ發動日及時間ヲ聯合國最高指揮官ニ直ニ通告スヘシ

然ルトキハ聯合國諸軍ハ戦闘ノ停止ヲ命ゼラルベシ

聯合國最高指揮官ハ更ニ日本國政府ニ對シ「フィリピン」「マニラ」市ニ在ル聯合國最高指揮官司令部ニ日本國天皇

日本國政府、日本國大本營ノ名ニ於テ降伏條件ヲ遂行スル爲必要ナル諸要求ヲ受領スルノ權限ヲ有スル代表者ヲ派遣スルコトヲ命ズ

右代表者ハ到着ト共ニ聯合國最高指揮官ノ要求ヲ受領スルノ權限ヲ附與セル日本國天皇ニ依リ證明セラレタル文書ヲ聯合國最高指揮官ニ提示スルモノトス

右代表者ハ日本國陸軍、日本國海軍及日本國空軍ヲ夫々代

表スル權限アル顧問ヲ帶同スルモノトス

最後ノ顧問(軍數、空軍領内)ハ東京地區ノ飛行場施設ヲ充分熟知シアルモノトス

前記代表一行ノ安全航行ノ手筈ハ左ノ如ク定メラル

右一行ハ日本飛行機ニヨリ伊江島ノ飛行場ニ至リ同地ヨリ米國ノ飛行機ニヨリ「フィリピン」、「マニラ」ニ輸送セララルモノトス

右一行ノ日本ヘノ歸還モ同様ノ方法ニ依ルモノトス

一行ハ武装ナキ飛行機ヲ使用シ型ハ零(ゼロ)二二型、L二型及D三型トス

右飛行機全体ハ白色ニ塗ラレ飛行機ノ胴体兩側並ニ各翼ノ上下部ニ五百「ヤード」ヨリ容易ニ認識セラル綠色(グリーン)ノ十字(復數)ヲ附スルモノトス

右飛行機ハ六九七〇「キロサイクル」ノ波長ヲ以テ英語ニヨル對機無線通話ヲ行ヒ得ルモノトス

右飛行機ハ滑走路中央部ニ明瞭ニ表示セラレアル二ケノ白十字ニ依リ認識セラル伊江島ノ飛行場ニ至ルモノトス

右飛行機ガ九州南端ノ佐多岬ヨリ出發スベキ適確ナル日時及伊江島ニ至ル航路、高度並ニ伊江島到着ノ豫定時間ハ東

京ヨリ英語ニテ一六一二五「キロサイクル」ノ波長ニテ六時間前ニ放送セラルルモノトス

右飛行機ノ離陸前ニ於テ本司令部ノ「ラヂオ」ニ依ル右放送ノ受領確認アルコトヲ必要トシ天候ガ許ス限り右飛行機ハ一九四五年八月十七日東京時間〇八〇〇ヨリ一一〇ノ間ニ出發スルモノトス

右飛行機ノ航行ニ關スル通信ハ「バダーン」ノ指定符號ヲ使用スルモノトス

右飛行機ハ一八〇度ノ航路ヲ以テ伊江島ニ至リ米國陸軍機P—三八S誘導機ニヨリ迎ヘラルルマテ一〇〇〇「フイト」又ハ雲層下ニテ着陸地ヲ旋回スルモノトス

右誘導機ハ伊江島到着前ニ日本機ト合流スルコトアルベシ

編注 來電第一号は、本書第1103文書と同文。

1204 昭和20年8月16日 日本政府、大本営より  
連合国最高司令官宛(電報)

### 日本軍の即時停戦などに関する通報

日本政府、大本営 8月16日発

#### 往電第一號

瑞西國政府ヲ通シ傳達セラレタル米國政府ノ通告及東京無線局ノ受信セル「マッカーサー」元帥ノ通告ヲ夫々受領セリ仍テ左ノ通報ス

一、天皇陛下ニ於カセラレテハ八月十六日十六時全軍隊ニ對シ即時停戦ノ大命ヲ發セラレタリ

二、右大命カ第一線ニ到達シ實效ヲ擧クル日時ハ左ノ如ク豫見ス

(イ)内地 四十八時間

(ロ)支那、滿洲、朝鮮、南方諸地域(「ブーゲンヴィール」、

「ニューギニア」「フィリピン」ヲ除ク) 六日

(ハ)「ブーゲンヴィール」 八日

(ニ)「ニューギニア」、比島ノ重要司令部ハ十二日、第一線ハ命令傳達期日ノ見透困難ナリ

三、終戦ニ關スル大御心及右停戦ノ大命ノ徹底ヲ期スル爲御名代ノ宮ヲ關東軍、支那派遣軍及南方軍ニ夫々差遣セラ

ル  
右旅程及航空機ノ型式、標識等ニ關シテハ追報スヘシ仍テ右ニ對シ安導ヲ保障アリ度シ

- 四、八月十七日九州佐多岬ヲ出發シ在「マニラ」「マッカーサー」司令部ニ向ケ軍人顧問ヲ帶同スル權限アル代表者(單數)ヲ派遣セシムヘシトノ要請ニ關シテハ八月十七日ニ我方代表者ノ飛行方ヲ取計フコトハ不可能ナルヲ以テ我方トシテ大ナル困惑ヲ感スルモノナリ但シ直チニ必要ナル準備ニ着手シ出來得ル限速ニ右代表者ヲ派遣スルコトトスヘク「マッカーサー」元帥ニ右派遣期日ヲ通告スヘシ
- 五、今後ノ聯合國最高司令部トノ通信連絡ハ左ノ方法ニ依ルコトト致シ度シ
- イ、日本側發受信者 大本營又ハ政府
- ロ、日本側發受信局 東京局(呼出符號JNP、波長一三七四〇「キロサイクル」)
- ハ、通信方法 無線電報
- ニ、用語 英語
- 六、「マッカーサー」元帥發通告ニ記載セラレタル飛行機ノ型式ハ理解シ得サルニ付右型式ニ關スル通告ヲ十分且明瞭ニ繰返ヘシ電報セラレタシ
- 七、「マッカーサー」元帥發出ノ通告全部ヲ受信シ居ルコト

ヲ確メ度キニ付本通報第五項ノ連絡通路ヲ通シ今一度右通告全部ヲ繰返ヘシ電報セラレタシ

1205

昭和20年8月16日 大本營より  
連合國最高司令官宛(電報)

停戦伝達使の旅程及び飛行機について

往電第二號

我方電報第一號第三項ニ關シ

一、旅程

- 八月十七日九時(3)、南方行(ハ十八日)東京發左記經路ニヨルモ天候其ノ他ノ都合ニヨリ若干ノ變更アルコトアリ
- 1、滿洲ハ東京―米子―京城
  - 2、支那ハ東京―福岡―上海―南京
  - 3、南方ハ東京―福岡―上海(一泊)―廣東―「ツーラン」―西貢

二、航空機ノ型式及標識

- 1、滿洲及支那行キハ低翼單葉双發中型輸送機三菱式
- 2、南方行キハ中翼單葉双發中型爆撃機胴體ハ葉卷型

MOCM2  
ニシテ B26ニ酷似ス

3、標識ハ日ノ丸標識ノ外ニ赤色四米ノ吹流ヲ附ス

1206

昭和20年8月16日 日本政府より  
連合国最高司令官宛(電報)

停戦に関する日本側代表派遣につき照会

日本政府 8月16日発

往電第四號

一、瑞西國政府ヲ通シ八月十六日傳達セラレタル米國大統領  
ノ「メッセージ」ノニ依レハ

“Send emissaries at once to the Supreme Commander for  
the Allied powers.... and fully empowered to make any  
arrangements directed by the Supreme Commander for the  
Allied powers to enable him and his accompanying forces to  
arrive at the place designated by him to receive the formal  
surrender”.

トアリテ emissaries ノ任務ハ最高司令官カ formal  
surrender ヲ受取リニ來ラレル際ニ必要ナル打合ヲ爲ス  
ニ在ル如ク見受けラル

ニ然ルニ東京電信局ニテ受信シタル the Supreme  
Commander for the Allied powers ヨリ the Japanese  
Emperor, the Japanese Imperial Government, the Japanese  
Imperial General Headquarters ニ宛テラレタル urgent ニ依  
レハ右最高司令官ハ日本國政府ニ對シ「マニラ」ニ於ケ  
ル其ノ司令部迄 “Send a competent representative  
empowered to receive in the name of the Emperor of Japan,  
the Japanese Imperial Government and the Japanese Imperial  
General Headquarters certain requirements for carrying into  
effect the terms of surrender”.

トアリテ帝國代表ノ任務ハ降服條項實施ノ爲ノ certain  
requirements ヲ受領スルコトニ在ル如ク見受けラル

三、A、前記一ト二トハ同一趣旨ノ内容ヲ述ヘ居ルモノナリ  
ヤB、若シ前記二ノ趣旨カ正確ナリトスレハ “certain  
requirements for carrying into effect the terms of surrender”  
トハ如何ナル事項ニ關スルモノナリヤ

右質問(複數)ハ之ニ對スル回答ノ如何ニヨリ帝國國內法  
上全權委任狀ヲ發出スル場合ニ差異アルニ付之ヲ明確ニ  
セラレンコトヲ希望ス

1207

昭和20年8月17日

連合国最高司令官より  
大本営宛(電報)

日本側代表者搭乗飛行機の安全につき連合国

軍側確認について

大本営 8月17日朝着

來電第三號

八月十六日附貴電第一號及第二號受領セリ當方ハ右ニ異議ナシ。其ノ使命遂行ニ向フ日本代表ノ搭乗スル飛行機ノ安全保障ノ爲有ラユル可能ナル措置ヲ構ス<sup>(講)</sup>ヘシ、余ノ二通ノ「メッセージ」ハ貴方要求通再電セラルヘシ、本司令部ニ對シ能フ限り速ニ日本代表ノ「マニラ」向飛行ノ日ヲ通知セラレタシ。貴方問合せノ飛行機ノ型ハ「ダグラス」DC—三型輸送機<sup>(C-37)</sup>ニシテ右ハ貴海軍零型2242D3或ハ貴陸軍109型輸送機<sup>(C-117)</sup>ト了解セラル。必要トアラバ貴方ニ於テ豫メ當方ニ通告シタル上ニテ「マニラ」行代表搭乗機ノ型ヲ變更セラレ差支ヘナシ。

1208

昭和20年8月17日

連合国最高司令官より  
大本営宛(電報)

日本側代表の任務に関する回答

大本営 8月17日後着

來電第四號

八月十六日附貴電第四號ニ關シ

降伏條項ニ署名スルコトカ「マニラ」ニ派遣セラルヘキ日本代表ノ任務中ニ含マレ居ラスト憶測セラレタルハ正確ナリ本司令部ヨリノ指令ハ明瞭ニシテ之レ以上遲滯スルコトナク應セラルヘキモノナリ

1209

昭和20年8月17日

大本営より  
連合国最高司令官宛(電報)

停戦伝達使の旅程及び飛行機につき追報

大本営 8月17日発

往電第六號

八月十六日附大本營發電報第二號關聯

、滿洲及支那ニ差遣セラルル御名代宮殿下ハ本十七日午前

九時三十分東京ヲ出發セラレタリ

、前電ニ於テ南方ニ差遣セラルル御名代宮殿下ハ十八日出發セラルル如ク通報セルモ天候惡化ヲ豫想シ本十七日午

前九時三十分東京ヲ出發セラレタリ

三、飛行機ノ型式及標識竝ニ經路ハ前電ノ通りニシテ變化ナシ



1210

昭和二十年八月十七日

大本營より  
連合國最高司令官宛(電報)

マニラへ派遣される代表者の決定について

付記 昭和二十年八月十七日付、作成局課不明

「今後ノ事態進展ニ關スル豫想」

大本營 8月17日發

往電第七號

我方ノ「マニラ」ニ赴クヘキ代表ノ人選決定セリ尤モ國內手續ノ關係モアリ八月十九日東京出發ノ豫定ナリ詳細追報スヘシ

(付記)

今後ノ事態進展ニ關スル豫想

昭和二十年八月十七日

一、「マニラ」ニ於ケル接觸

「マニラ」ニ派遣セラルル我方代表ノ任務ニ付テハ先方ハ降伏條項ノ署名ヲ求ムルニ非スシテ正式降伏ヲ受理スル爲「マッカーサー」司令部及麾下軍隊カ恐ラク日本本土内ト想像セラルル或ル地點ニ到着スル爲メノ打合ヲ爲シ且日本軍隊ノ配置狀況等ニ關シ説明ヲ爲スコトアル旨申越セル處現在ノ國內ノ狀況及軍情等ヨリ見テ今直チニ及敵側ノ本土乘込カ實施セラルルニ於テハ眞ニ由々敷事態發生ノ惧アリ仍テ我方ハ八月十七日最高戰爭指導會議ニ於テ審議ノ結果我方トシテハ先ツ停戰ニ關スル正式文書ノ成立、次イテ日本軍隊ノ自主的武裝解除ヲ行ヒタル上前記敵ノ乘込乃至進駐ヲ實施スルコトヲ切望スル趣旨ヲ以テ先方ニ對シ交渉ヲ試ミルコトトシ代表ノ人選モ其ノ見地ヨリ特ニ慎重ヲ期スルコトトシ代表ノ出發ハ之レ以上遅レサル様十九日ニ沖繩ニ到着スル如ク出發セシムルコトトセリ

斯クノ如ク「マニラ」ニ於ケル先方トノ接觸ハ極メテ重大機微ナルモ遺憾乍ラ本交渉ハ對等交渉ニ非ス先方カ果シテ我方ノ理ノ有ル所ヲ諒トシテ協力ヲ敢テシ來ルヤ見込立タス而モ先方ハ相當派手ナル正式降伏ヲ以テ局ヲ結

フコトヲ對内關係上重視シ居ル模様ナルハ我方トシテ輕視スヘカラサル所ナリ孰レニスルモ、「マニラ」ニ於ケル接觸ノ結果如何ニ依リ今後ノ順序カ定マルコトトナルヘシ

## 二、停戰

停戰ニ關シテハ「マッカーサー」司令部ハ我方カ即時停戰ヲ命シ且其ノ實效カ舉カル日時ヲ通報スヘキ旨指令シ來ルト共ニ其ノ上ニテ（「右通報受領ノ上」ノ意ナルヤ「停戰ノ實效カ舉カリタル上」ノ意ナルヤ不明ナルモ恐ラク後者ノ如シ）聯合國軍隊モ停戰ヲ命セラルヘキ旨申シ居ルト共ニ（別紙第 號參照）既ニ積極的攻撃ハ手控フヘキ旨發令セルモノノ如シ但シ蘇軍ノ如キハ日本軍力武器捨テル迄ハ積極攻撃ヲ緩メスト聲明シ頻リニ占領地域ノ擴大、既成事實ノ形成ニ努メツツアリ

尙米軍ニ於テモ飛行機ニ依ル哨戒或ハ艦船ニ依ル本土附近遊弋ノ如キハ實施シ居リ爲メニ停戰ノ事態ヲ作り上クルニハ相當ノ困難ヲ生シ居ル次第ナリ

何レニスルモ停戰カ終局の効果ヲ生スル爲メニハ通常ノ場合ハ休戰協定ノ締結ヲ必要トスル次第ナルカ今次聯合

國側ノ意圖ハ曩ニ獨逸ニ對シテ爲シタルト同様停戰協定ニ依ラス我方ヲシテ一方的ニ降伏條項（其ノ内容ハ必スシモ休戰ニ關スル軍事事項ニ限定セラレサルヘシ）ニ署名セシメントスルニ在ルモノノ如シ（「ポツダム」宣言第十三項ニハ日本軍隊ノ無條件降伏ナルコトヲ要求シ居レリ）

## 三、占領

日本本土ノ占領ニ關スル敵側ノ腹案ハ必スシモ明瞭ナラサルモ右正式降伏ノ前ニ一部進駐ヲ行ヒ且爾後兵力ヲ増強スルニ非サヤト推測セラル

占領ノ範圍、地點等ニ關シテ今日迄ノ所大体豫想セラルル所次ノ如シ

(イ) 占領ハ本土ノ特定地點トナルモノノ如シ（「ポツダム」宣言第七項）

(ロ) 占領軍ハ聯合國側諸國ノ軍隊ヨリ構成サルヘキモ指揮ハ「マッカーサー」ノ掌握スル所ナリ（八月十六日「トルーマン」ノ記者會見）

(ハ) 占領軍ノ兵力、兵種、部隊ノ種類等一切不明ナルカ空軍及海軍艦船カ相當ノ重要度ヲ有スルニ非ルヤノ想像



ヲ爲シ得

右(イ)等カ獨逸占領ノ場合ト相當趣ヲ異ニスルモノナルコトハ勿論ナリ

次ニ占領軍ト帝國ノ統治權トノ關係ニ付テハ之ヲ詳細ニ巨リ斯クナルヘシ云々ト斷定スルコト困難且危險ナルハ言ヲ俟タサルモ占領軍ハ帝國領土ニ對シ全般の軍政ヲ施行スルモノニ非スシテ帝國ノ統治權ハ其ノ儘存續スルヲ原則トスルモ降伏條項ノ實施ノ爲其ノ必要ト認ムル措置ヲ執ル聯合國最高司令官ノ制限ノ下ニ置カルルモノト言フヘシ(聯合國側回答)

次ニ占領軍ノ軍紀風紀ニ關シテハ現ニ國內ニ於テ種々揣摩憶測カ行ハレ居ル如キ處此ノ點ニ關シ確タル見透ヲ述フルコト素ヨリ危險ナルモノ一般のニハ戰鬪ヲ交ヘツツ進撃シ來ル軍隊ノ軍紀風紀ヨリハ平穩裡ニ進駐スル軍隊ノ夫レノ方カ良好ナリト言ヒ得ヘシ從ツテ占領地方モ明示セラレ居ラサル此ノ際各地方ニ於テ「デマ」ニ戰々兢兢タルカ如キコトハ甚タ面白カラス所管官廳側ニ於テ適宜啓發スルノ要アリ

### 三、武裝解除

日本軍隊ノ武裝解除ハ敵味方共ニ難問題トスル所ナリ我方トシテハ紛糾ヲ避ケントスル見地ヨリ敵側ニ對シ我方カ自主的ニ行フ如ク措置スルコトニ同意方希望ヲ述ヘ置キタル次第ナルカ(我方ノ希望開陳)參照)本件ノ處理如何ハ決定的重要性ヲ有スルハ言ヲ俟タサル所ニシテ我方トシテハ武裝解除ノ前提トシテ先ツ信義ニ關スル正式文書ノ成立ヲ強く希望スルモノナルコト前述、ノ如シ

#### 四、正式降伏

先方ノ意向ハ前述ノ如ク本土ニ乘込ミテ所謂城下ノ誓ニ類スル儀式的ナル停戰ヲ行ヒ其ノ際ニ我方ヲシテ降伏條項ニ署名セシメントスルニ在リ之カ甚タ危險ニシテ先ツ停戰ニ關スル文書ノ成立、武裝解除次イテ乘込ミノ順序トナシタキカ我方ノ希望ナルコト前述、ノ通ナリ

#### 六、政治經濟條項

「ポツダム」宣言ノ政治、經濟條項即チ例ヘハ戰爭責任者及犯罪人ノ處斷、賠償、軍需産業ノ禁止、日本ノ政治ニ對スル關與等ハ何レモ重要事項ナルモ右ハ現在ノ軍事の善後處理ノ段階ヲ得タル上敵側ノ意圖ノ逐次判明スルニ從ヒ措置セラルヘキモノナリ

但シ我方トシテハ今ヨリ直チニ産業ノ軍需ヨリ民需ヘノ  
轉換、復員、政治ノ切替ヘ等ヲ自主的ニ着手シ置クヲ可  
トスルハ勿論ナリ

尙戦争責任ノ追及及戦争犯罪人ノ處斷ニ付テハ素ヨリ未  
タ敵側ノ意圖ノ全貌ヲ察知シ得ルニ至ラサル次第ナルモ  
目下ノ國內状況ハ「デマ」横行ノ傾向強ク此ノ點適宜啓  
發スルニ非サレハ不穩形勢醸成激化ノ危険アリ

1211

昭和20年8月19日 大本営より  
連合国最高司令官宛(電報)

日本代表団出發について

大本営 8月19日發

往電第一〇號

全權一行ノ飛行機(複數)ハ本十九日午前七時十八分本更津  
飛行場ヲ出發セリ

1212

昭和20年8月20日 連合国最高司令官より  
大本営宛(電報)

日本代表団のマニラ到着について

來電第七號

大本営 8月20日前2時10分着

日本國政府代表ハ八月十九日十七時五四分(「マニラ」時間)  
「マニラ」ニ到着セリ

1213

昭和20年8月20日 連合国最高司令官より  
大本営宛(電報)

日本代表団のマニラ出發について

付記一 昭和二十年八月二十日受領

マニラにて日本代表団に手交された連合国最

高司令官要求事項及び同和訳文

二 昭和二十年八月二十日受領

マニラにて日本代表団に手交された三文書(降

伏文書案、日本国天皇布告案、陸海軍一般命

令第一号案)

大本営 8月20日後6時20分着

來電第八號

日本政府代表(複數)ハ八月二十日一三時〇三分「マニラ」  
ヨリ日本ニ向ツテ出發セルカ八月二十日一八時三十分頃伊

江島ヲ出發シ八月二十日二三時三〇分頃木更津到着ノ豫定ナリ

河邊中將ハ夜間着陸施設及自動車(複數)ヲ用意方要請セリ

(在記1)

REQUIREMENTS OF

THE SUPREME COMMANDER FOR THE ALLIED  
POWERS PRESENTED TO THE JAPANESE  
REPRESENTATIVES AT MANILA, P.I., 20

AUGUST 1945

CONTENTS

Document I “ORIENTATION, AGENDA AND  
REQUIREMENTS (Revised)”

Document II “REQUIREMENTS FOR ENTRY AND  
OPERATIONS OF AN ADVANCE PARTY  
REPRESENTING THE SUPREME  
COMMANDER FOR THE ALLIED POWERS

WITHIN THE TOKYO BAY AREA”  
(臨時ヲス)  
With ANNEX “A” (Map).

Document III “REQUIREMENTS FOR ENTRY OF THE

SUPREME COMMANDER FOR THE ALLIED  
POWERS AND HIS ACCOMPANYING  
FORCES”

With ANNEX “A”, LOGISTIC  
REQUIREMENTS.

Document IV “REQUIREMENTS FOR ENTRY AND

OPERATIONS OF INITIAL OCCUPATION  
FORCES IN THE KANOYA AREA OF  
SOUTHERN KYUSHU.”  
With ANNEX “A”, (Map)

REQUIREMENTS OF

THE SUPREME COMMANDER FOR THE ALLIED POWERS  
PRESENTED TO THE JAPANESE REPRESENTATIVES  
AT MANILA, P.I., 19 AUGUST 1945

THIS DOCUMENT CONSTITUTES A REVISION AS

TO PARAGRAPH 1, OF A SIMILAR DOCUMENT  
PRESENTED EARLIER.

I

ORIENTATION, AGENDA AND REQUIREMENTS

1. The Supreme Commander for the Allied Powers will accept the surrender of the Japanese Armed Forces in TOKYO BAY on a United States Battleship on the 31st of August 1945, the exact time to be designated later. To effectuate the surrender it will be required that the Supreme Commander for the Allied Powers and accompanying forces arrive in TOKYO BAY prior to the ceremony in the following chronological sequence:

- 26 August a. An Advance Party will arrive by air at ATSUGI Airfield.
- b. United States Naval Forces will arrive in SAGAMI WAN.
- c. Naval Forces will advance into TOKYO BAY.
- 28 August a. Airborne forces accompanying the Supreme Commander for the Allied

Powers will commence landing at ATSUGI Airfield.

b. Naval and Marine Forces will land in the vicinity of YOKOSUKA Naval Base.

c. The forces indicated above will occupy and establish themselves at once within a specifically designated area pending consummation of the formal surrender.

29-30 August Landing of airborne and naval forces continues.

31 August a. Landing of airborne and <sup>(naval)</sup> naval landing forces continues.

b. Aboard a United States Battleship in TOKYO BAY at an hour to be designated later, the Supreme Commander for the Allied Powers will receive from the duly authorized representatives of the Japanese Emperor, the Japanese Government and the Japanese General Headquarters the

proclamation signed by the Emperor of

Japan and the Instrument of Surrender to be signed as indicated at that ceremony.

Immediately following the formal surrender, these two documents together with General Order No.1, Military and Naval, will be promulgated throughout Japan and to Japanese people and Japanese-controlled armed forces wherever situated.

1 September Advance party lands on KANOYA

Airtrone.

2 September Airborne landing at KANOYA airtrone and naval landing at TAKASU.

2. The following information is supplied to the Japanese representatives as their schedule during and subsequent to their meeting with representatives of the Supreme Commander for the Allied Powers in MANILA.

About 2030 hours, Japanese representatives will be

19 August 1945.

conducted to the Headquarters of the Supreme Commander for the Allied Powers. They will be prepared to furnish such information as they may have available pertaining to:

a. Facilities in the TOKYO BAY AND KANOYA (KYUSHU) Areas, such as

Airfields.

Seaplane bases.

Naval Bases.

Anti-aircraft Defenses.

Harbor Defense.

Mines, minefields and other obstacles to movement by land, sea and air, and the safety lanes in connection therewith.

Aids to air and water navigation.

Harbor facilities.

Petroleum storage facilities, including pipeline distribution systems.  
Supply storage, covered and open.  
Officers quarters.  
troop cantonments.  
Troop barracks.  
Office space.  
Motor Transportation.  
b. Prisoner of War and civilian Internee Camps and places of detention wherever located within JAPAN and Japanese-controlled areas.  
Specifically the present locations of Generals J.M. Wainwright and A.E. Percival are required.  
0830, 20 August 1945 The Japanese representatives will be furnished with documents containing

the requirements of the Supreme Commander for the Allied Powers to facilitate the entry of the Supreme Commander and his accompanying forces into the TOKYO BAY and the KANOYA airfield area;  
and the following documents which the Japanese representatives will deliver to the Emperor of Japan upon their return to TOKYO:  
a. Proclamation by the Emperor of Japan. This document will be signed by the Emperor and delivered by his representative to the Supreme Commander for the Allied Powers at the time and place of formal surrender, later designated.  
b. Instrument of Surrender. This document will be presented, at the

time and place of formal surrender, for signature by the parties as indicated therein.

c. General Order No.1, Military and Naval. This document will be promulgated subsequent to the formal surrender as directed in the Proclamation by the Emperor of Japan and the Instrument of Surrender.

Later 20 August 1945 The Japanese representatives will depart from MANILA via IE SHIMA for TOKYO. The Japanese representatives will promptly notify the Supreme Commander for the Allied Powers of the time of arrival at destination. They will immediately deliver to the Emperor the documents listed in a, b, and c,

above, and convey to him the requirements for the entry of the Supreme Commander for the Allied Powers and his accompanying forces into the TOKYO BAY area and for the occupation of the KANOYA airfield.

3. The timing of events hereinbefore indicated is subject to change at the convenience of the Supreme Commander for the Allied Powers.

REQUIREMENTS  
OF THE

SUPREME COMMANDER FOR THE ALLIED POWERS  
PRESENTED TO JAPANESE REPRESENTATIVES

AT MANILA, P.I., 20 AUGUST 1945

II

REQUIREMENTS FOR ENTRY AND OPERATIONS OF  
AN ADVANCE PARTY REPRESENTING THE

SUPREME COMMANDER FOR THE ALLIED  
POWERS WITHIN THE TOKYO BAY AREA

---

1. a. The “TOKYO BAY Area” as employed in these and succeeding requirements by the Supreme Commander for the Allied Powers, is defined as the area enclosed in RED on map, “Inclosure A,” which is to be regarded as a part of this document.

b. The “Area of Initial Evacuation” within the TOKYO BAY area as employed in these and succeeding requirements by the Supreme Commander for the Allied Powers, is defined as the area enclosed in BLACK on the above-mentioned “Inclosure A.”

2. The Advance Party will represent the Supreme Commander for the Allied Powers to make preparations for the entry into the “Area of Initial Evacuation” of the Supreme Commander for the Allied Powers and his accompanying airborne and naval forces.

3. The Japanese Imperial General Headquarters will

---

acknowledge to the Supreme Commander for the Allied Powers by radio on or before 1500 hours, 25 August 1945, safe conduct for an Advance Party consisting of about 150 personnel, transported in about 48 airplanes, all with standard United States markings. This party will land at ATSUGI Airdrome about 0900 hours, 26 August 1945. Exact time of arrival will be communicated by direct radio from airplanes in flight to TOKYO station in the “TOKYO BAY Area” whose call sign will be “RED”. Airplanes will employ the call sign “VICTOR” on a frequency of 4495. Safe conduct will include the following:

a. Safe procedure to and landing at ATSUGI Airdrome.

b. Security and preservation from harm of personnel, airplanes and equipment of the party while in the “Area of Initial Evacuation.”

c. Provision of every courtesy and facility to members of the Advance Party in accomplishment of their mission.

d. Provision for suitable safe-guarded quarters on ATSUGI Airdrome.

e. Police escort in such numbers and so equipped as to



insure absolute safety for each member of the Advance Party wherever he may be while in the ATSUJI Airdrome Area.

f. The services of a Senior Officer from the Japanese Army Air Headquarters; one from the Japanese Naval Air Headquarters; one from the Japanese Army Headquarters and one from the Japanese Naval Headquarters, available to the Commander of the Advance Party upon arrival at ATSUJI Airdrome, prepared to provide or make available such information as may be required by the Commander of the Advance Party as to facilities in the "Area of Initial Evacuation." Services of such guides and interpreters as may be required by the Commander of the Advance Party.

g. Safe motor transportation and routing within the ATSUJI Airdrome Area as required by the Commander of the Advance Party.

h. Free communications by radio between the Advance Party and the Supreme Commander for the Allied Powers in MANILA.

4. Advice is required on or before 1500 hours, 24 August

1945, as to the identity and frequency of the radio station in the TOKYO BAY area with which the Advance Party will communicate in flight concerning time of arrival, landing instructions and other necessary matters relating to the safe flight of the Party.

5. The Japanese Imperial General Headquarters will evacuate all combatant units of the Japanese Armed Forces from the ATUJI Airdrome Area. There is excepted all civil police and gendarmerie, which will be maintained as necessary to prevent outbreaks, sniper fire and other overt acts. The airdrome will be maintained and left in full operational condition for use by the Advance Party.

### REQUIREMENTS

#### OF THE

#### SUPREME COMMANDER FOR THE ALLIED POWERS

#### PRESENTED TO JAPANESE REPRESENTATIVES

AT MANILA, P.I., 20 AUGUST 1945

III

REQUIREMENTS FOR ENTRY OF THE SUPREME  
COMMANDER FOR THE ALLIED POWERS AND HIS

ACCOMPANYING FORCES

1. The Japanese Imperial Government and Japanese Imperial General Headquarters will require execution of the following requirements effective 1800 hours 24 August 1945.
- a. Japanese armed forces and civil aviation authorities will insure that all Japanese military, naval and civil aircraft in Japan remain on the ground, on the water or aboard ship until further notification of the disposition to be made of them.
  - b. Japanese or Japanese-controlled military, naval or merchant vessels of all types in Japanese waters will be maintained without damage and will undertake no movement beyond voyages in progress, pending instructions of the Supreme Commander for the Allied Powers. Vessels at sea will immediately render harmless and throw overboard explosives of all types. Vessels not at sea will immediately remove explosives of all types to safe storage ashore.
  - c. Merchant vessels under 100 gross tons engaged in

civilian supply activities in Japanese waters are excepted from the foregoing instructions. Vessels in TOKYO BAY engaged in evacuation of personnel from YOKOSUKA Naval Base are also excepted.

d. Japanese or Japanese-controlled ships at sea wherever located, will report their positions in plain language immediately to the nearest United States, British or Soviet radio station on 500 kilocycles (600 meters) and to the call sign NQO on one of the following high frequencies: 4235, 8470, 12705, or 16940 kilocycles. They will proceed to the nearest Allied port or such port as the Commander-in-Chief, United States Pacific Fleet, may direct, and will await further orders. Ships will burn navigational lights at night and will display searchlights with beams held vertically.

e. Japanese or Japanese-controlled submarines, wherever located, will remain on the surface, fly a black flag or pennant and show lights at night. They will report their positions in accordance with the next preceding paragraph, and will proceed on surface to the nearest of the following ports: Agana, Guam;

Midway Island; or Subic Bay, Philippine Islands. Upon arrival at point ten miles from entrance to the port communicate with the port and lie-to until boarded by Allied Naval Forces.

f. The safety and well-being of all United Nations prisoners of war and civilian internees will be scrupulously preserved, to include the administrative and supply service essential to provide adequate food, shelter, clothing and medical care, until such responsibility is undertaken by the Supreme Commander for the Allied Powers. Local delivery of supplies dropped for United Nations prisoners of war and internees will be insured.

g. Each camp or other place of detention of United Nations prisoners of war and civilian internees will be marked with the letters "PW," twenty feet in height in yellow on black background, reading south to north. For further details see Inclosure (A).  
(付当マテ)

2. The Japanese Imperial Government and Japanese Imperial General Headquarters will require execution of the following requirements effective 1800 hours 25 August 1945.

a. All mines, minefields and other obstacles to safe movement by land, sea and air into the TOKYO BAY area will be removed and, pending such action, all safety lanes will be kept open and clearly marked.

b. All aids to navigation will be re-established and, pending the accomplishment of this task, the existing war system of navigational lighting will be maintained except that all dimmed lights will be shown at full brilliancy.

c. The Piloting Services will continue to operate in the TOKYO BAY area and all pilots will be held in their normal stations ready for service and equipped with charts.

d. Japanese naval and other personnel concerned with operation of ports will remain at their stations and continue to carry out their normal duties.

e. Immobilize all vessels and craft, of whatever type, in TOKYO BAY and the approaches thereto.

f. Remove breechlocks from, fully depress and render inoperative, all coast defense, anti-aircraft and other fixed and mobile artillery of all calibers within the TOKYO BAY area.

g. Completely disarm all craft in the TOKYO BAY area and render inoperative all weapons, of whatever type, which may exist in the “Area of Initial Evacuation,” in addition to those specifically set forth herein.

3. The Japanese Imperial Government and the Japanese Imperial General Headquarters will require execution of the following requirements effective 1800 hours 27 August 1945.

a. The YOKOSUKA Naval Base will be prepared for occupation and possible operation by United States Naval units.

b. Evacuate all combatant units of the Japanese armed forces from the “Area of Initial Evacuation” (see chart), and confine them to the limits of their assigned bivouacs. There is excepted all civil police and gendarmie, which will be maintained as necessary to prevent outbreaks, sniper fire and other overt acts and to prohibit and prevent any substantial gatherings of the populace. There are also excepted such unarmed military personnel as are necessary for normal caretaking functions. Fire-arms employed by civil police and gendarmie will be limited to small arms. On O-SHIMA the

personnel may remain but will be disarmed.

c. Provide adequate accommodations, billets and camp area facilities and utilities, for the Supreme Commander as indicated in detail in the attached Inclosure (A).

4. The Japanese Imperial Government and the Japanese Imperial General Headquarters will require execution of the following requirements effective 0600 hours 28 August 1945:

a. Make available members of the Imperial General Staff for conference with representatives of the Supreme Commander for the Allied Powers at ATSUGI Airdrome immediately upon arrival, and at such times and places thereafter as may be directed for the prompt settlement of all matters requiring attention.

b. Make available one hundred and twenty-five (125) local guides and interpreters familiar with the “Area of Initial Evacuation.”

5. To insure safe entry into TOKYO BAY area, a Japanese ship will as soon as practicable and not later than 0800 hours 26 August 1945 meet United States Naval forces twenty (20) miles

bearing one hundred thirty-five degrees (135°) from O-SHIMA, and will lead those forces into SAGAMI WAN and will supply twelve pilots to conduct certain forces into TOKYO BAY when and as directed by the Senior United States Naval Commander present. These pilots will be equipped with complete charts showing the location of all underwater defenses, minefields and other obstructions, and also all aids to navigation.

6. The following general measures are being taken by 0600 hours, 25 August 1945 by forces of the Allied Powers within their several zones of action:

- a. United Nations aircraft will conduct daylight and night surveillance flights over JAPAN and Japanese-controlled areas.
- b. United Nations air forces will drop supplies to United Nations Prisoner of War and Internee Camps and places of detention.
- c. United Nations naval forces will occupy the coastal waters of JAPAN and Japanese-controlled areas.
- d. United Nations naval forces may start mine sweeping operations at any of the following ports: TOKYO, OSAKA,

SASEBO, NAGASAKI, TAKASU (KAGOSHIMA-WAN), JINSEN (CHEMULPO), TSINGTAO, SHANGHAI, CANTON, HONGKONG, SINGAPORE.

In the above duties they will be unmolested.

REQUIREMENTS  
OF THE

SUPREME COMMANDER FOR THE ALLIED POWERS  
PRESENTED TO JAPANESE REPRESENTATIVES

AT MANILA, P.I., 20 AUGUST 1945

IV

REQUIREMENTS FOR ENTRY AND OPERATIONS OF  
INITIAL OCCUPATION FORCES IN THE KANOYA  
AREA OF SOUTHERN KYUSHU

1. The "KANOYA Area" of Southern KYUSHU as employed in present and succeeding requirements by the Supreme Commander for the Allied Powers, is defined as shown in RED on map "INCLOSURE 'A,'" which is to be regarded as

a part of this document.

2. An Advance Party representing the Supreme Commander for the Allied Powers will enter the Area 1 September 1945 to make preparations for the entry into the “KANNOYA Area” of seaborne and airborne initial occupation forces. Such Occupation Forces will enter the Area 2 September 1945.

3. The Japanese Imperial General Headquarters will provide the Supreme Commander for the Allied Powers, in the TOKYO BAY Area, on or before 1200 hours, 30 August 1945, guarantee of full security for entry into the “KANNOYA Area” and assistance therein for an Advance Party consisting of twenty personnel transported in two airplanes, both with standard United States markings. This party will land at the “KANNOYA” Airdrome about 1000 hours 1 September 1945. Exact time of arrival will be communicated by direct radio from airplanes in flight to KANNOYA station in the KANNOYA Airbase area, whose call sign will be “DISK.” Airplanes will employ the call sign “VICTOR” on a frequency of 4495 kilocycles.

4. Full security and assistance to the Advance Party in the “KANNOYA Area” will include:

a. Safe procedure to and landing at KANNOYA Airdrome.  
b. Security and preservation from harm of personnel, airplanes and equipment of the Party while in the “KANNOYA Area.”

c. Provision of every courtesy and facility to members of the Advance Party in accomplishment of their mission.  
(Part 7)

d. Provision for safe-guarded quarters on the KANNOYA Airdrome.

e. Police escort in such numbers and so equipped as to insure absolute safety for each member of the Advance Party wherever he may be while in the “KANNOYA Area.”

f. The services of a Senior Officer from the Japanese Army Air Headquarters; one from the Japanese Naval Air Headquarters; one from the Superior Japanese Army Headquarters; and one from the Superior Japanese Naval Headquarters, exercising control of the respective forces in the Southern KYUSHU Area, available to the Commander of the

Advance Party upon arrival at KANOYA Airdrome, prepared to

provide or make available such information as may be required by the Commander of the Advance Party as to facilities in the “KANOYA Area.” Services of such guides and interpreters as may be required by the Commander of the Advance Party.

g. Safe motor transportation and routing within the “KANOYA Area” as required by the Commander of the Advance Party.

h. Access for inspection purposes to such areas and facilities within the “KANOYA Area” as may be indicated by the Commander of the Advance Party.

i. Free communications by radio between the Advance Party and the Supreme Commander for the Allied Powers in the “Area of Initial Evacuation,” TOKYO BAY Area.

5. Advice is required on or before 1500 hours, 31 August 1945, as to the identity and frequency of the radio station in the “KANOYA Area” with which the Advance Party will communicate in flight concerning time of arrival, landing instructions and other necessary matters relating to the safe

flight of the Party.

6. The Japanese Imperial Government and the Japanese Imperial General Headquarters will complete execution of the following additional requirements, effective on or before 1800 hours 31 August 1945 with respect to the “KANOYA Area.”

a. Removal of all mines, minefields and other obstacles to safe movement via all land and air routes into the “KANOYA Area” and by sea via TAKASU, KAGOSHIMA WAN and its approaches, as far north as latitude 31°30' North.

b. Continued operation of the piloting services in the Southern KAGOSHIMA WAN and approaches thereto. All pilots will be held in their normal stations and will be equipped with charts.

c. Continuation at their stations and normal duties of Japanese naval and other personnel concerned with operation of ports in the Southern KAGOSHIMA WAN and approaches thereto, including the port of TAKASU.

d. Immobilization of all vessels and craft of whatever type in the KAGOSHIMA WAN and approaches thereto.

e. Evacuation of all combatant units of the Japanese Armed Forces from the “KANROYA Area” (see “INCLOSURE ‘A’”) and retention of them within the limits of their assigned bivouacs. There is excepted all civil police and gendarmerie, which will be maintained as necessary to prevent outbreaks, sniper fire and other overt acts and to prohibit and prevent any substantial gatherings of the populace. There are also excepted such unarmed military personnel as are necessary for normal caretaking functions. Fire arms employed by civil police and gendarmerie will be limited to small arms.

f. The Japanese Imperial General Headquarters will maintain and have the KANOYA Airdrome in a full operational status.

g. Re-establishment of all aids to navigation in the KAGOSHIMA WAN. Pending the accomplishment of this task, the existing war system of navigational lighting will be maintained except that all dimmed lights will be shown at full brilliancy.

h. Removal of breechblocks from full depression and the

rendering inoperative of all coast defense, anti-aircraft and other fixed and mobile artillery of all calibers on KYOSHU <sup>(KYUSHU 2)</sup> south of Latitude 31°45' North.

i. Complete disarmament of all craft in the KAGOSHIMA WAN and the rendering inoperative of all weapons, of whatever type larger than small arms, which may exist in KYUSHU south of Latitude 31°45' North, in addition to those specifically set forth herein.

j. Provision of adequate accommodations, billets and camp area facilities and utilities, as indicated in Inclosure (A) to DOCUMENT III herein (“Requirements for Entry of The Supreme Commander for The Allied Powers and His Accompanying Forces”).

7. Members of the General Staffs of the Superior Headquarters exercising command and control of ground, air and naval forces in the “KANROYA Area” will be made available for conferences with representatives of the Supreme Commander for the Allied Powers at KANOYA Airdrome immediately upon their arrival, and at such times and places



thereafter as they may direct for the prompt settlement of all matters requiring attention.

8. One hundred (100) local guides and interpreters familiar with the "KANOYA Area" will be made available as required by the Commander of the Initial Occupation Forces.

9. To insure safe entry into the KAGOSHIMA WAN to the port of TAKASU, a Japanese ship will, beginning not later than 1500 hours, 31 August 1945 take station to meet U.S. Naval Forces at 30 miles, bearing 90°, from SATA-MISAKI, Southern KYUSHU, and will lead those forces into the KAGOSHIMA WAN. The commander of the Japanese ship will supply eight pilots to conduct certain forces into the KAGOSHIMA WAN when and as directed by the Senior U.S. Naval Commander present. These pilots will be equipped with complete charts showing the location of all underwater defenses, minefields and other obstructions and all aids to navigation.

(和訳文)

千九百四十五年八月二十日「フィリピン」諸島「マニ

ラ」ニ於テ日本國代表ニ手交セラレタル聯合國最高司令官要求事項

—内容—

第一號 方針、日程及要求事項(訂正セルモノ)

第二號 聯合國最高司令官ヲ代表スル先遣隊ノ東京灣地域

ニ於ケル進駐及行動ニ關スル要求事項

別紙甲(地圖)  
(Attachment)

第三號 聯合國最高司令官及其ノ隨行部隊ノ進駐ニ關スル

要求事項

別紙甲 兵站ニ關スル要求事項

第四號 南九州鹿屋地域ニ於ケル第一次占領部隊ノ進駐及

行動ニ關スル要求事項

別紙甲(地圖)

千九百四十五年八月十九日「フィリピン」諸島「マニ

ラ」ニ於テ日本國代表ニ手交セラレタル聯合國最高司令官要求事項

命令要求事項

本文書ハ曩ニ手交セル同種文書第一項ヲ修正セルモノナリ

第一號

方針、日程及要求事項

一、聯合國最高司令官ハ千九百四十五年八月三十一日東京灣ニテ合衆國戰艦上ニ於テ日本軍ノ降伏ヲ受諾ス確定時刻ハ追テ指示セラルヘシ

降伏實施ノ爲聯合國最高司令官及其隨行部隊ハ降伏式施行ニ先立ち左ノ日程ニ依リ東京灣ニ到ルヘシ

八月二十六日

(イ)先遣部隊空路厚木飛行場到着

(ロ)合衆國海軍部隊相模灣到着

(ハ)海軍部隊東京灣内ニ進入

八月二十八日

(イ)聯合國最高司令官隨行空輸部隊厚木飛行場着陸開始

(ロ)海軍及海兵部隊横須賀軍港附近上陸

(ハ)上記部隊ハ直ニ特ニ指定セラレタル地域ヲ占領シ正

式降伏完了迄ノ間駐屯スヘシ

八月二十九日—三十日

空輸及海軍部隊引續キ到着

八月三十一日

(イ)空輸及海軍陸戰隊引續キ上陸

(ロ)東京灣内合衆國戰艦上ニ於テ追ツテ指定セラルヘキ

時刻ニ聯合國最高司令官ハ日本國天皇、政府及大本營ニ依リ正當ノ權限ヲ附與セラレタル代表者ヨリ日本國天皇ノ署名アル詔書及降伏式ニ於テ指定セラレ

タルカ如ク署名セラレタル降伏文書ヲ受領ス

正式降伏直後右二通ノ文書ハ陸海軍一般命令第一號

ト共ニ日本國及日本國ノ支配下ニアル地域竝ニ日本

國民及ヒ其ノ何所ニアルヲ問ハス日本國ノ支配下ニ

アル諸部隊ニ布告セラルヘキモノトス

九月一日

(イ)先遣部隊鹿屋飛行場着陸

九月二日

(イ)空輸部隊鹿屋飛行場ニ着陸

海軍陸戰隊高須ニ上陸

二、在「マニラ」聯合國最高司令官ノ代表者トノ會見中及其

ノ後ノ日程トシテ日本代表者ニ左ノ事項ヲ通報ス

千九百四十五年八月十九日二〇時三〇分頃

日本代表者ハ聯合國最高司令官本部へ伴ハルヘシ

右日本代表者ハ左ノ事項ニ關シ得ラルヘキ情報ヲ提出

スルノ用意アルヘシ

イ、東京灣及鹿屋(九州)地域ニ於ケル左ノ如キ施設

飛行場

水上機基地

海軍基地

防空施設

港灣防備施設

地雷、機雷原及陸海空ヨリスル行動ニ對スル其他ノ

障害竝ニ右ニ關聯スル安全航路

空中及水上航行ニ對スル補助施設

港灣施設

送油管ニ依ル配給施設ヲ含ム貯油施設

有蓋及無蓋補給品貯藏所

將校宿舍

兵營

兵舎

事務所敷地

自動車輸送

ロ、何レノ地ニアルヲ問ハス日本國內及日本國ノ支配

下ニアル地域ニ於ケル俘虜及非戦闘員收容所及抑留

所、特ニ「ジエー、エム、ウエインライト」及「エー、

イー、パーシバル」將軍ノ現在ノ所在地ヲ通報スヘ

シ

千九百四十五年八月二十日八時三〇分

日本代表者ハ聯合國最高司令官及ヒ其ノ隨行部隊ノ東

京灣内及鹿屋飛行場地域ヘノ進入ヲ容易ナラシムル爲

ノ聯合國最高司令官ノ要求事項ヲ記載セル文書及歸京

後 天皇ヘ奉呈スヘキ次ノ書類ヲ手交セラルルモノト

ス

イ、日本國天皇ノ詔書。本文書ハ 天皇ノ親書ノ後追

テ指示セラルヘキ正式降伏ノ時及場所ニ於テ 天皇

ノ代表者ニ依リ聯合國最高司令官ニ對シ提出セラル

ヘシ

ロ、降伏文書。本文書ハ正式降伏ノ時及場所ニ於テ之

ヲ提出シ同文書ニ指示シアル關係者署名ヲ求ムヘシ

ハ、陸海軍一般命令第一號。本命令ハ正式降伏後日本

國天皇ノ詔書及ヒ降伏文書中ニ指示セラレアル如ク

公布セラルヘシ

千九百四十五年八月二十日以降

日本代表者ハ「マニラ」ヲ出發伊江島ヲ經テ東京ヘ向フヘシ

日本代表者ハ目的地到着時刻ヲ速ニ聯合國最高司令官ニ通報スヘシ歸着後右代表ハ直ニ以上イ、ロ、ハ、ニ表示セル文書ヲ 天皇ニ奉呈シ聯合國最高司令官及其ノ隨行部隊ノ東京灣地域進入竝ニ鹿屋飛行場占領ニ關スル要求事項ヲ上奏スヘシ

三、以上ニ示セル日程ハ聯合國最高司令官ノ都合ニ依リ變更セラルルコトアルヘシ

千九百四十五年八月二十日「フィリピン」諸島「マニラ」ニ於テ日本國代表ニ手交セラレタル聯合國最高司令官要求事項

第二號

聯合國最高司令官ヲ代表スル先遣隊ノ東京灣地域ニ於ケル進駐及行動ニ關スル要求事項

一、(イ)聯合國最高司令官ノ今次及將來ノ要求事項中「東京灣地域」トハ別紙「甲」地圖ニ赤線ニテ圍マレタル地域

ヲ謂ヒ右別紙ハ本文書ノ一部トシテ看做サルモノトス

(ロ)聯合國最高司令官ノ今次及將來ノ要求事項中東京灣地域内ニ於ケル「第一次撤退地域」トハ前記別紙「甲」

ニ黒線ニテ圍マレタル地域ヲ謂フ

三、先遣隊ハ聯合國最高司令官ヲ代表シ聯合國最高司令官及之ニ隨行スル空輸及海軍部隊ノ「第一次撤退地域」ニ對スル進駐ノ準備ヲナスモノトス

三、日本國大本營ハ聯合國最高司令官ニ對シ千九百四十五年八月二十五日一五〇〇時又ハ夫レ以前ニ合衆國制定標識ヲ附シタル航空機約四十八機ニテ輸送セラルル約百五十名ヨリ成ル先遣隊ノ安導ヲ無電ヲ以テ確認スヘシ右先遣隊ハ來ル千九百四十五年八月二十六日〇九〇〇時頃厚木飛行場ニ着陸スヘシ正確ナル到着時刻ニ關シテハ飛行中ノ航空機ヨリ東京灣地域ニ於ケル東京無電局ニ對シ呼出符號「RED」ヲ以テ無電ニテ直接連絡スルモノトス右航空機ハ周波數四四九五「キロサイクル」呼出符號「VICTOR」ヲ使用ス安導トハ左ノ諸項ヲ含ムモノトス(イ)厚木飛行場ヘノ安全ナル進航及着陸

(ロ)「第一次撤退地域」ニ駐屯中先遣隊ノ人員、航空機及裝備ニ對スル安全保障及危害防止

(イ)先遣隊員ノ任務遂行中彼等ニ對シ有ユル好意ヲ持シ且便宜ヲ供與スル事

(ニ)厚木飛行場ニ於ケル安全ニ護衛セラレタル宿舍ノ供與

(ホ)先遣隊各員ノ厚木飛行場地域内ニ駐屯中何所ニ在ルヲ問ハス其絶對安全ヲ保障スヘキ員數及裝備ヲ有スル警察官ニ依ル護衛

(ヘ)日本陸軍航空司令部、海軍航空司令部、參謀本部、海軍司令部ノ夫々ノ先任將校各一名ハ先遣隊長ノ厚木飛行場到着次第之ヲ援助シ且第一次撤退地域ノ設備ニ付

先遣隊長ノ要求スルコトアルヘキ情報ヲ供與シ又ハ供與シ得ル如ク準備シ置クヘシ又先遣隊長ノ要求スルコトアルヘキ通譯及案内人ヲ供與スヘシ

(ト)先遣隊長ノ要求スルコトアルヘキ厚木飛行場地域ニ於ケル自動車輸送及其通路選定

(チ)先遣隊及在「マニラ」聯合國最高司令官間ノ自由ナル無線通信

四、先遣隊ノ到着時刻、着陸ニ關スル指示事項及其他安全飛

行ニ必要ナル事項ニ關シ飛行中連絡スヘキ東京灣地域放送局ノ呼出符號及其周波數ヲ千九百四十五年八月二十四日一五〇〇時又ハ其レ以前ニ通報スヘシ

五、日本國大本營ハ厚木飛行場地域ヨリ一切ノ日本軍戰鬥部隊ヲ撤退スヘシ但シ暴動、狙撃其他公安ヲ亂ス行動ヲ阻止スルニ必要ナル一切ノ警察官及憲兵隊員ハ此ノ限ニ非ス該飛行場ハ先遣隊ノ使用ノ爲之ヲ維持シ且完全ニ使用シ得ル狀態ニ存知スルモノトス

### 第三號

聯合國最高司令官及其隨行部隊進駐ニ關スル要求事項

一、日本帝國政府及大本營ハ千九百四十五年八月二十四日一

八〇〇時ヲ期シ左ノ要求事項ヲ實施スベシ

(イ)日本國軍隊及民間航空當局ハ日本國內ニ在ル日本國陸軍、海軍又ハ民間ノ一切ノ航空機ヲシテ追テ其ノ處分

ニ關シ指示アル迄確實ニ之ヲ地上、水上又ハ艦船上ニ

アラシムベシ

(ロ)日本國ニ屬シ又ハ日本國ノ支配下ニアル一切ノ種類ノ

陸海軍及民間ノ艦船ニシテ日本國領海内ニ在ルモノハ

聯合國最高司令官ノ追テ命令スル迄之ヲ毀損スルコト  
 ナク保存スベク又現ニ進行中ノ航海以外ニ一切移動セ  
 ザルモノトス航行中ノ船舶ハ直ニ一切ノ種類ノ爆發物  
 ヲ無害ナラシメ之ヲ海中ニ投棄スベシ航行中ニ非ザル  
 艦船ハ直ニ一切ノ種類ノ爆發物ヲ陸上ニ安全ニ格納ス  
 ベシ

(ハ) 日本國領海内ニ在リテ民需補給ニ從事中ナル總噸數百  
 噸未滿ノ商船ニ付テハ前號ノ規定ヲ適用セズ東京灣内  
 ニアル船舶ニシテ横須賀鎮守府ノ人員ノ撤退ニ從事ス  
 ルモノニ付亦同ジ

(ニ) 日本國ニ屬シ又ハ日本國ノ支配下ニアル船舶ニシテ航  
 海中ノモノハ其ノ何所ニ在ルカヲ問ハズ直ニ五〇〇  
 「キロサイクル」(六〇〇米)ノ波長ヲ以テ最寄ノ米、  
 英若ハ蘇聯ノ無電局ニ對シ且四二三五、八四七〇、一  
 二七〇五又ハ一六九四〇「キロサイクル」ノ高周波ノ  
 中何レカ一ヲ以テ呼出符號NQOニ對シ平文ヲ以テ直  
 ニ自己ノ位置ヲ通報スベシ之等ノ船舶ハ最寄ノ聯合國  
 ノ港又ハ米國太平洋艦隊司令長官ノ指示スル港ニ向ケ  
 航行シ指示ヲ待ツベシ之等船舶ハ夜間ハ航海燈ヲ點ジ

探照燈ヲ垂直ニ照射スベシ

(ホ) 日本ニ屬シ又ハ日本ノ支配下ニアル潜水艦ハ其ノ何所  
 ニ在ルカヲ問ハズ水上ニ在リテ黑色旗又ハ黑色三角旗  
 ヲ掲揚シ夜間ハ點燈スベシ此等ノ潜水艦ハ前項ニ從ヒ  
 其ノ位置ヲ報告シ左ノ諸港灣中最寄ノモノニ向ヒ水上  
 航行シ當該港口十哩ノ地點ニ到着シタルトキハ港灣當  
 局ト連絡シ聯合國海軍部隊ノ乗艦スル迄同所ニ停船シ  
 居ルモノトス

「グアム」島「アガナ」、「ミッドウエー」島、比島  
 「スービック」灣

(ヘ) 聯合國側ノ俘虜及被抑留非戦闘員ノ安全及福祉(充分  
 ナル衣食住及醫療ノ提供ニ必要ナル行政及補給ヲ含ム)  
 ハ追テ聯合國最高司令官ニ於テ責任ヲ引受クル迄ハ慎  
 重ニ保持セラルベシ尙投下セラレタル聯合國俘虜及被  
 抑留者向物資ハ確實ニ之ヲ傳達スルモノトス

(ト) 聯合國側俘虜及非戦闘員ノ收容所及抑留所ハ凡テ高サ  
 二十呎ノ「PW」ノ文字ヲ南ヨリ北ニ向ツテ讀ム如ク  
 黒地ニ黄色ヲ以テ畫キ之ヲ標示スベシ更ニ詳細ハ別紙  
(見当ラズ)  
 Aノ通トス

二、日本帝國政府及大本營ハ千九百四十五年八月二十五日一

八〇〇時ヲ期シ左ノ要求事項ヲ實施スベシ

(イ)東京灣進入ニ當リ陸海空ノ行動ヲ安全ナラシムル爲一  
切ノ地雷機雷原其ノ他ノ障害物ヲ除去スルモノトシ其  
ノ作業終了スル迄ハ安全通路ヲ存置シ且之ヲ明ニ標示  
スベシ

(ロ)一切ノ航行補助施設ハ之ヲ復活スルモノトシ之ガ完全  
ニ復活スル迄ハ現行戰時航路標示照明ハ之ヲ維持スル  
モノトス但シ微光燈ハ全光力ヲ以テ照明スルモノトス  
(ハ)東京灣地域ニ於ケル水先案内ハ引續キ其ノ業務ヲ繼續  
スベキモノトシ一切ノ水先案内人ハ海圖ヲ所持シ直ニ  
出動シ得ル様其ノ通常駐在場所ニテ待機スベシ

(ニ)港灣運營關係ノ海軍軍人其ノ他ノ職員ハ其ノ勤務場所  
ニ在リテ其ノ通常ノ任務ヲ續行スベシ

(ホ)東京灣内及其ノ灣口ニアル一切ノ船舶ハ之ヲ停止セシ  
ムベシ

(ヘ)東京灣地域ノ一切ノ海岸砲、高射砲其ノ他ノ砲(固定  
及可動ノモノヲ含ム)ハ其ノ口徑ノ如何ヲ問ハズ尾栓  
ヲ除去シ其ノ砲身ヲ最低俯角ニ下ゲ使用不可能ナラシ

ムベシ

(ト)東京灣地域ニ在ル一切ノ艦船ハ完全ニ武裝解除シ本文  
書ニ明記スルモノ以外ノ一切ノ兵器モ亦其ノ種類ノ如  
何ヲ問ハズ第一次撤退地域内ニアルモノハ之ヲ使用不  
可能ナラシムベシ

三、日本帝國政府及大本營ハ千九百四十五年八月二十七日一  
八〇〇時ヲ期シ左ノ要求事項ヲ實施スベシ

(イ)横須賀軍港ハ合衆國海軍部隊之ヲ占領スベク又同部隊  
ノ使用シ得ルガ如ク準備スベシ

(ロ)日本軍ノ一切ノ戰鬪部隊ハ第一次撤退地域(附圖參照)  
ヨリ之ヲ撤去セシメ且指定宿營地區内ヨリ他出セシメ  
ザルモノトス但シ暴動、狙撃其ノ他公安ヲ亂ス行動及  
多數人民ノ集合ヲ禁止シ且之ヲ防止スル爲必要トシテ  
維持セラルベキ一切ノ警察官及憲兵ハ此ノ限ニ非ラス  
非公裝ノ軍人ニシテ通常ノ管理ノ任務ヲ行フニ必要ナ  
ル者ニ付亦同ジ警察及憲兵ノ使用スル火器ハ小火器ニ  
限ル尙大島ニ於テハ人員ハ殘留スルコトヲ得ルモ武裝  
解除セラルベキモノトス

(ハ)別紙(甲)ニ詳細ヲ示シアルガ如ク最高司令官ノ爲適當

ナル宿泊設備、宿營及野營地域ノ諸施設ヲ準備スベシ  
四、日本帝國政府及大本營ハ千九百四十五年八月二十八日〇

六〇〇時ヲ期シ左ノ要求事項ヲ實施スベシ

(イ) 聯合國最高司令官ノ代表到着次第直ニ厚木ニ於テ且其  
ノ後處理ヲ要スル一切ノ問題ヲ速急ニ解決スル爲指示  
セラルベキ時期及場所ニ於テ協議シ得ル様大本營職員  
若干名ヲシテ待機セシムベシ

(ロ) 第一次撤退地域ヲ熟知セル當該地方案内者及通譯百二  
十五名ヲ準備スベシ

五、東京灣安全進入ヲ保障スル爲日本艦艇一隻ハ成ルベク速  
ニ遅クトモ千九百四十五年八月二十六日〇八〇〇時以前  
ニ大島ノ百三十五度二十浬ノ位置ニテ合衆國海軍部隊ト  
邂逅シ先任合衆國海軍司令官ノ指示アル時ハ之ニ應ジ同  
部隊ハ相模灣ニ誘導シ又一部部隊ヲ東京灣内ヘ誘導スル  
爲水先案内人十二名ヲ差出スベシ右水先案内人ハ一切ノ  
水中防備施設、機雷原其ノ他障礙物及一切ノ航海補助施  
設ノ位置ヲ明示セル完全ナル海圖ヲ所持シ居ルベシ

六、聯合國部隊ハ千九百四十五年八月二十五日〇六〇〇時ヲ  
期シ其ノ數個ノ行動區域内ニ於テ左ノ一般的措置ヲ講ズ

(イ) 聯合國航空機ハ晝夜ニ亘リ日本及日本ノ支配下ニアル  
諸地域ノ監視飛行ヲ行フベシ

(ロ) 聯合國空軍部隊ハ聯合國俘虜收容所及非戦闘員抑留所  
宛航空機ニ依リ給養品ヲ投下スベシ

(ハ) 聯合國海軍部隊ハ日本及日本ノ支配下ニ在ル諸地域ノ  
沿岸水域ヲ占領スベシ

(ニ) 聯合國海軍部隊ハ左ノ港灣ノ掃海作業ヲ開始スルコト  
アルベシ

東京、大阪、佐世保、長崎、高須(鹿兒島灣)、仁川  
(チエムルボ)、青島、上海、廣東、香港、「シンガポー  
ル」

右任務遂行中ハ之ニ妨害ヲ與フルコトヲ得ズ

#### 第四號

南九州鹿屋地域ニ於ケル第一次占領部隊ノ進駐及行動ニ關  
スル要求事項

一、聯合國最高司令官ノ今次及將來ノ要求事項中南九州「鹿  
屋地域」トハ別紙「甲」地圖ニ赤色ニテ示シアル地域ヲ  
謂ヒ右別紙ハ本文書ノ一部トシテ看做サルモノトス



二、聯合國最高司令官ヲ代表スル先遣隊ハ水上及空中ヨリスル第一次占領部隊ノ鹿屋地域進駐準備ノ爲千九百四十五年九月一日同方面ニ進入スベク右占領部隊ハ千九百四十五年九月二日同方面ニ進駐スベシ

三、日本帝國大本營ハ東京灣地域内ニアル聯合國軍最高司令官ニ對シ千九百四十五年八月三十日一二〇〇時又ハ夫レ以前ニ、二十名ヲ搭載シ米合衆國ノ制定標識ヲ附シタル航空機二機ヨリナル先遣隊ノ鹿屋地域進入ニ關シ充分ノ安全及同地域ニ於ケル援助ヲ保證スベシ右先遣隊ハ千九百四十五年九月一日一〇〇〇時頃鹿屋飛行場ニ着陸スベシ正確ナル到着時間ニ關シテハ飛行中ノ航空機ヨリ在鹿屋航空基地地域ノ鹿屋無電局ニ對シ呼出符號「DISK」ヲ以テ無電ヲ以テ直接連絡スルモノトス右航空機ハ周波數四四九五「キロサイクル」呼出符號「VICTOR」ヲ使用ス

四、先遣隊ニ對スル充分ノ安全及援助トハ左ノ諸項ヲ含ムモノトス

- (イ) 鹿屋飛行場ヘノ安全ナル進航及着陸
- (ロ) 鹿屋地域ニ駐屯中先遣隊ノ人員、航空機、裝備ニ對ス

ル安全保障及危害防止

(ハ) 先遣隊各員ノ任務遂行中彼等ニ對スル有ユル好意ヲ持シ且便宜ヲ供與スルコト

(ニ) 鹿屋飛行場ニ於ケル安全ニ護衛セラレタル宿舍ノ供與  
(ホ) 先遣隊各員ノ鹿屋地域駐屯中何所ニ在ルヲ問ハズ其ノ絶對安全ヲ保障スベキ員數及裝備ヲ有スル警察官ニ依ル護衛

(ヘ) 南九州地域所在部隊ヲ統轄スル日本陸軍航空司令部、海軍航空司令部、陸軍上級司令部、海軍上級司令部ノ夫々ノ先任將校各一名ハ聯合國先遣隊長鹿屋到着次第之ヲ援助シ且鹿屋地域ノ設備ニ付先遣隊長ヨリ要求スルコトアルベキ情報ヲ供與シ又ハ供與シ得ル如ク準備シ置クベシ又先遣隊長ノ必要トスルコトアルベキ通譯及案内者ヲ供與スベシ

(ト) 先遣隊長ノ要求スルコトアルベキ鹿屋地域ニ於ケル安全ナル自動車輸送及其ノ通路選定

(チ) 鹿屋地域ニ於テ先遣隊長ノ指示スベキ諸地域及施設ハ自由ニ檢閲シ得ル如クス

(リ) 先遣隊ト東京灣方面第一次撤退地域ニ在ル聯合國最高

司令官トノ間ノ自由ナル無電通信

五、先遣隊ノ到着時間、着陸ニ關スル指示事項及其ノ他安全飛行ニ必要ナル事項ニ關シ飛行中連絡スベキ鹿屋地域ノ無線局ノ呼出符號及其周波數ヲ千九百四十五年八月三十一日一五〇〇時又夫レ以前ニ通報スルコト

六、日本帝國政府及大本營ハ鹿屋地域ニ關シ千九百四十五年八月三十一日一八〇〇時又ハ夫レ以前ニ上記ノ外左ノ如キ當方要求事項ヲ完全ニ履行スルヲ要ス

(イ)鹿屋地域ニ對スル陸及空ヨリスル安全ナル進駐及鹿兒島灣高須及同灣口ヲ經テ海ヨリスル安全ナル進駐ヲ阻害スル地雷、機雷原其ノ他ノ障礙物ハ北方北緯三十一度三十分ニ至ル迄一切之ヲ除去スベシ

(ロ)南部鹿兒島灣及其ノ灣口ニ於ケル水先案内ハ之ヲ續行スベシ一切ノ水先案内ハ各自ノ通常ノ勤務場所ニ在リテ海圖ヲ所持シ居ルベシ

(ハ)高須灣ヲ含ミ南部鹿兒島灣及其ノ灣口ニ於ケル諸港灣運營關係ノ日本海軍軍人及其ノ他ノ職員ハ引續キ其ノ勤務場所ニ於テ通常任務ヲ續行スベシ

(ニ)鹿兒島灣及其ノ灣口ニ在ル一切ノ船舶及舟艇ハ其ノ種

類ノ如何ヲ問ハズ之ヲ停止セシムベシ

(ハ)鹿屋地域(別紙甲參照)ヨリ一切ノ日本軍戰鬥部隊ヲ撤退シ且其ノ指定セラレタル宿營區域内ヨリ出デシメザルコト。但シ暴動、狙撃其ノ他公安ヲ亂ス行動及多數人民ノ集合ヲ禁止シ且之ヲ防止スル爲必要ナルベキ一切ノ警察官及憲兵ハ此ノ限ニ非ズ非武装ノ軍人ニシテ通常ノ管理ノ任務ヲ行フニ必要ナル者ニ付亦同ジ。警察官及憲兵ノ携行スル火器ハ小火器ニ限ル

(ヘ)日本國大本營ハ鹿屋飛行場ヲ維持シ且之ヲ完全ニ使用シ得ル狀態ニ存置スルモノトス

(ト)鹿兒島灣内ニ在ル航行補助諸施設ハ之ヲ復活スルモノトシ之ガ完全ニ復活スル迄ハ現行ノ戰時航路標示照明ハ之ヲ維持スベシ。但シ現在ノ微光燈ハ之ヲ全光度ヲ以テ照明スルモノトス

(チ)北緯三十一度四十五分以南ノ九州ノ一切ノ海岸砲、高射砲其ノ他ノ固定及可動砲ハ口徑ノ如何ヲ問ハズ尾栓ヲ除去シ砲身ヲ最低俯角トシ使用不可能ナラシムルモノトス

(リ)鹿兒島灣内ニ在ル一切ノ船舶ヲ完全ニ武装解除シ且本

文書中ニ明記シタル武器ノ外北緯三十一度四十五分以南ノ九州ニ存スル小火器ヨリ大ナル武器ハ一切之ヲ使用不可能ナラシムルモノトス

(ヌ) 本文書第三號(聯合國最高司令官及其ノ隨行部隊ノ進駐ニ關スル要求事項)附屬(甲)ニ指示セラレタル適當

ナル宿泊設備宿營及野營地域諸施設ヲ準備スベシ

七、聯合國最高司令官ノ代表到着次第直ニ且其後處理ヲ要スル一切ノ問題ヲ速急ニ解決スル爲指示セルベキ時期及場所ニ於テ協議シ得ル様鹿屋方面ノ陸海空軍ヲ指揮統轄スル上級司令部ノ參謀部員ヲシテ待機セシムベシ

八、第一次占領部隊指揮官ノ要求アルトキハ之ニ應ジ得ル様鹿屋方面ヲ熟知セル案内者及通譯百名ヲ準備シ置クベシ  
九、鹿兒島灣内高須港進入ノ安全ヲ保障スル爲日本艦船一隻ハ遅クトモ千九百四十五年八月三十一日一五〇〇時以前九州南方佐多岬ノ九十度三十浬ノ地點ニテ米國海軍部隊ニ邂逅スル爲待機シ之ヲ鹿兒島灣内ニ誘導スベシ右日本船舶船長ハ米國海軍先任指揮官ノ指示アル時ハ之ニ應ジ所要部隊ヲ鹿兒島灣内ニ誘導スル爲水先案内人八名ヲ差出スベシ之等ノ水先案内人ハ水中防備施設、機雷原其ノ

他ノ妨礙物及一切ノ航海補助施設ノ位置ヲ明示セル完全ナル海圖ヲ所持スベシ

(付記二)

#### INSTRUMENT OF SURRENDER

1. We, acting by command of and in behalf of the Emperor of Japan, The Japanese Government and the Japanese Imperial General Headquarters, hereby accept the provisions in the declaration issued by the heads of the Governments of the United States, China and Great Britain 26 July 1945 at Potsdam, and subsequently adhered to by the Union of the Soviet Socialist Republics, which 4 powers are hereafter referred to as the Allied Powers.

2. We hereby proclaim the Unconditional Surrender to the Allied Powers of the Japanese Imperial Headquarters and of all Japanese Armed Forces and all Armed Forces under Japanese Control wherever situated.

3. We hereby command all Japanese forces wherever situated and the Japanese people to cease hostilities forthwith, to

preserve and save from damage all ships, air crafts, and military and civil property and to comply with all requirements which may be imposed by the Supreme Commander for the Allied Powers or by agencies of the Japanese Government at his direction.

4. We hereby command the Japanese Imperial General Headquarters to issue at once orders to the commanders of all Japanese forces and all forces under Japanese control wherever situated to surrender unconditionally themselves and all forces under their control.

5. We hereby command all civil, military and naval officials to obey and enforce all proclamations, orders and directives deemed by the Supreme Commander for the Allied Powers to be proper to effectuate this surrender and issued by him or under his authority and we direct all such officials to remain at their posts and to continue to perform their non-combatant duties unless specifically relieved by him or under his authority.

6. We hereby undertake for the Emperor, the Japanese

Government and their successors to carry out the Provisions of the Potsdam Declaration in good faith and to issue whatever orders and take whatever action may be required by the Supreme Commanders for the Allied Powers or by and other designated Representatives of the Allied Powers for the purpose of giving effect to that declaration.

7. We hereby command the Japanese Imperial Government and the Japanese Imperial General Headquarters at once to liberate all Allied Prisoners of War and civilian internees now under Japanese control and to provide for their protection, care, maintenance and immediate transportation to places as directed.

8. The authority of the Emperor and the Japanese Government to rule the State shall be subject to the Supreme Commander for the Allied Powers who will take such steps as he deems proper to effectuate these terms of surrender.

Signed at \_\_\_\_\_ at \_\_\_\_\_ on the \_\_\_\_\_ day of \_\_\_\_\_ 1945.

\_\_\_\_\_ By Command and in behalf of the Emperor of Japan and the Japanese Government.

\_\_\_\_\_ By Command and in behalf of the Japanese Imperial General Headquarters.

Accepted at \_\_\_\_\_ on the \_\_\_\_\_ day of \_\_\_\_\_ 1945, for the United States, Republic of China, United Kingdom and the Union of Soviet Socialist Republics, and in the interest of the other United Nations at War with Japan.

\_\_\_\_\_ Supreme Commander for the Allied Powers.

\_\_\_\_\_  
United States Representative

\_\_\_\_\_  
Republic of China Representative

\_\_\_\_\_  
United Kingdom Representative

\_\_\_\_\_  
Union of Soviet Socialist/Representative Republics

PROCLAMATION BY THE EMPEROR OF JAPAN

Accepting the terms set forth in Declaration issued by the heads of the Governments of the United States, Great Britain and China on July 26th, 1945 at Potsdam and subsequently adhered to by the Union of Soviet Socialist Republics, I have commanded the Japanese Imperial Government and the Japanese Imperial General Headquarters to sign on my behalf the Instrument of Surrender presented by the Supreme Commander for the Allied Powers and to issue General Orders to the Military and Naval Forces in accordance with the direction of the Supreme Commander for the Allied Powers. I command all my people forthwith to cease hostilities, to lay down their arms and faithfully to carry out all the provisions of Instrument of Surrender and the General Orders issued by the Japanese Imperial General Headquarters hereunder.

GENERAL ORDER NUMBER 1. MILITARY AND NAVAL

I. The Imperial General Headquarters by direction of the Emperor, and pursuant to the surrender to the Supreme Commander for the Allied Powers of all Japanese Armed Forces by the Emperor, hereby orders all of its Commanders in Japan and abroad to cause the Japanese Armed Forces and Japanese-Controlled Forces under their command to cease hostilities at once, to lay down their arms, to remain in their present locations and to surrender unconditionally to Commanders acting on behalf of the United States, The Republic of China, The United Kingdom and the British Empire, and The Union of Soviet Socialist Republics, as indicated hereafter or as may be further directed by the Supreme Commander for the Allied Powers. Immediate contact will be made with the indicated Commanders, or their designated representatives, subject to any changes in detail prescribed by the Supreme Commander for the Allied Powers, and their instructions will be completely and immediately carried out.

(a) The senior Japanese Commanders and all ground, sea,

air and auxiliary forces within China, (excluding Manchuria), Formosa and French Indo-China north of 16 degrees north latitude shall surrender to Generalissimo Chiang Kai-Shek.

(b) The senior Japanese Commanders and all ground, sea, air and auxiliary forces within Manchuria, Korea north of 38 degrees north latitude, Karafuto and the Kurile Islands shall surrender to the Commander-in-Chief of Soviet Forces in the Far East.

(c) The senior Japanese Commanders and all ground, sea, air and auxiliary forces within the Andamans, Nicobars, Burma, Thailand, French Indo-China south of 16 degrees north latitude, Malaya, Borneo, Netherlands Indies, New Guinea, Bismarcks, and the Solomons, shall surrender to the Supreme Allied Commander, South East Asia Command and to the Commanding General, Australian Forces as later designated.

(d) The senior Japanese Commanders and all ground, sea, air and auxiliary forces in the Japanese mandated Islands, Ryukyus, Bonins, and other Pacific Islands shall surrender to the Commander-in-Chief, U.S. Pacific Fleet.

(e) To the Imperial General Headquarters, its Senior Commanders, and all ground, sea, air and auxiliary forces in the main Islands of Japan, minor Islands adjacent thereto, Korea South of 38 degrees North latitude, and the Philippines shall surrender to the Commander-in-Chief, U.S. Army Forces in the Pacific.

(f) The above indicated Commanders are the only representatives of the Allied Powers empowered to accept surrender, and all surrenders of Japanese Forces shall be made only to them or to their representatives.

The Japanese Imperial General Headquarters further orders its Commanders in Japan and abroad to disarm completely all forces of Japan or under Japanese control, wherever they may be situated, and to deliver intact and in safe and good condition all weapons and equipment at such time and at such places as may be prescribed by the Allied Commanders indicated above.

Pending further instructions, the Japanese Police Force in the main Islands of Japan will be exempt from this disarmament provision. The Police Force will remain at their posts and shall

be held responsible for the preservation of Law and Order. The strength and arms of such a Police Force will be prescribed.

II. The Japanese Imperial General Headquarters shall furnish to the Supreme Commander for the Allied Powers, within (time limit) of receipt of this order, complete information with respect to Japan and all areas under Japanese control, as follows:

(a) Lists of all land, air and anti-aircraft units showing locations in strengths in Officers and Men.

(b) Lists of all aircraft, Military, Naval and Civil, giving complete information as to the number, type, location and condition of such aircraft.

(c) Lists of all Japanese and Japanese-controlled Naval Vessels, surface and submarine and Auxiliary Naval Craft in or out of commission and under construction giving their position, condition and movement.

(d) Lists of all Japanese and Japanese-controlled Merchant Ships of over 100 gross tons, in or out of commission and under construction, including Merchant Ships formerly

belonging to any of the United Nations which are now in Japanese hands, giving their position, condition and movement.

(c) Complete and detailed information, accompanied by maps, showing locations and layouts of all mines, minefields, and other obstacles to movement by land, sea or air, and the safety lanes in connection therewith.

(f) Locations and descriptions of all military installations and establishments, including airfields, seaplane bases, anti-aircraft defenses, ports and naval bases, storage depots, permanent and temporary land and coast fortifications, fortresses and other fortified areas.

(g) Locations of all camps and other places of detention of United Nations Prisoners of War and Civilian Internees.

III. Japanese Armed Forces and Civil Aviation Authorities will insure that all Japanese Military, Naval and Civil Aircraft remain on the ground, on the water, or aboard ship, until further notification of the disposition to be made of them.

IV. Japanese or Japanese-controlled Naval or Merchant vessels of all types will be maintained without damage and will

undertake no movement pending instructions from the Supreme Commander for the Allied Powers. Vessels at sea will immediately render harmless and throw overboard explosives of all types. Vessels not at sea will immediately remove explosives of all types to safe storage ashore.

V. Responsible Japanese or Japanese-controlled Military and Civil Authorities will insure that:

a. All Japanese mines, minefields and other obstacles to movement by land, sea and air, wherever located, be removed according to instructions of the Supreme Commander for the Allied Powers.

b. All aids to navigation be reestablished at once.

c. All safety lanes be kept open and clearly marked pending accomplishment of A above.

VI. Responsible Japanese and Japanese-controlled Military and Civil Authorities will hold intact and in good condition pending further instructions from the Supreme Commander for the Allied Powers the following:

a. All arms, ammunition, explosives, military equipment,



stores and supplies, and other implements of war of all kinds and all other war material (except as specifically prescribed in section IV. of this order).

b. All land, water and air transportation and communication facilities and equipment.

c. All Military installations and establishments, including airfields, seaplane bases, anti-aircraft defenses, ports and naval bases, storage depots, permanent and temporary land and coast fortifications, fortresses and other fortified areas, together with plans and drawings of all such fortifications, installations, and establishments.

d. All factories, plants, shops, research institutions, laboratories, testing stations, technical data, patents, plans drawings and inventions designed or intended to produce or to facilitate the production or use of all implements of war and other material and property used by or intended for use by any military or part-military organization in connection with its operations.

VII. The Japanese Imperial General Headquarters shall

furnish to the Supreme Commander for the Allied Powers, within (time limit) of receipt of this order, complete lists of all the items specified in paragraphs a., b., and d. of section VI above, indicating the numbers, types and locations of each.

VIII. The manufacture and distribution of all arms, ammunition and implements of war will cease forthwith.

IX. With respect to United Nations Prisoners of War and Civilian Internees in the hands of Japanese or Japanese-controlled authorities:

(a) The safety and well-being of all United Nations Prisoners of War and Civilian Internees will be scrupulously preserved, to include the administrative and supply service essential to provide adequate food, shelter, clothing, and medical care until such responsibility is undertaken by the Supreme Commander for the Allied Powers:

(b) Each camp or other place of detention of United Nations Prisoners of War and Civilian Internees together with its equipment, stores, records, arms, and ammunition will be delivered immediately to the command of the senior officer or

designated representative of the Prisoners of War and Civilian Internees:

(c) As directed by the Supreme Commander for the Allied Powers, Prisoners of War and Civilian Internees will be transported to places of safety where they can be accepted by Allied authorities:

(d) The Japanese Imperial General Headquarters will furnish to the Supreme Commander for the Allied Powers, within (time limit) of the receipt of this order, complete lists of all United Nations Prisoners of War and Civilian Internees, indicating their location.

X. All Japanese and Japanese-controlled Military and Civil authorities shall aid and assist the occupation of Japan and Japanese-controlled areas by forces of the Allied Powers.

XI. The Japanese Imperial General Headquarters and appropriate Japanese officials shall be prepared, on instructions from Allied Occupation Commanders, to collect and deliver all <sup>(collect<sup>42</sup>)</sup> arms in the possession of the Japanese Civilian population.

XII. This and all subsequent instructions issued by the

Supreme Commander for the Allied Forces of other Allied Military authorities will be scrupulously and promptly obeyed by Japanese and Japanese-controlled Military and Civil Officials and private persons. Any delay or failure to comply with the provisions of this or subsequent orders, and any action which the Supreme Commander for the Allied Powers determines to be detrimental to the Allied Powers, will incur drastic and summary punishment at the hands of Allied Military Authorities and the Japanese Government.



1214 昭和20年8月21日 大本営より  
連合国最高司令官宛(電報)

### 日本代表団の帰着についで

大本営 8月21日発

往電第一五號

「マニラ」ニ派遣セラレタル帝國代表一行ノ主力ハ二十一日八時三十分東京ニ到着セリ歸還途中飛行機事故ニ依リ豫定外ノ地點ニ着陸セルヲ以テ右歸還時刻ハ豫定ヨリモ若干遅延セリ

尚伊江島ニ殘留セル者モ近ク東京ニ向ヒ出發ノ豫定ナリ

1215 昭和20年8月23日 大本營より  
連合國最高司令官宛(電報)

停戦伝達使の旅程及び飛行機について

大本營 8月23日發

往電第二三號

我方往電第一號第三項及第二號、第六號ニ關シ

一、南方ニ差遣セラレタル御名代ノ宮殿下ハ本二十三日朝西

貢發廣東經由夕刻上海着明二十四日福島經由東京ニ歸還

セララル豫定ナリ天候ノ都合ニ依リ上海ニ向フコトナク

南京ニ飛行スルコト豫想セラレ又飛行時刻ニモ若干ノ變

動アルヘキヲ以テ諒承アリ度

二、飛行機ノ形式及標識ハ前電ノ通り變化ナシ尙貴司令官要

求ニ基ク飛行禁止時刻以外ニ及フコトナキニシモ非ルヲ

以テ特ニ其安全ヲ保證セラレ度

1216 昭和20年8月24日 日本政府より  
連合國最高司令官宛(電報)

台風被害により連合國軍先遣隊進駐のための  
準備困難の旨報告

日本政府 8月24日發

往電第三一號

日本政府ハ八月二十二日夕刻ヨリ二十三日朝ニ巨ル七百四十耗ノ強烈ナル颱風ノ爲關東地方ニ於ケル通信輸送機關ニ相當ノ損害アリ貴司令部ノ要求ニナル先遣隊ノ進駐準備ハ我々ノ最善ノ努力ニモ拘ラス若干ノ困難ニ遭遇シツツアル事ヲ報告スル必要ヲ感ジ居レリ

1217 昭和20年8月24日 大本營より  
連合國最高司令官宛(電報)

關東地区及び鹿兒島における日本軍撤退状況

について

大本營 8月24日發

往電第三六號

一、關東地方ニ於ケル第一次撤退地域及鹿屋附近竝ニ鹿兒島灣兩側地區ノ軍側ニ對シ期限ヲ附シテ撤退ヲ終ル如ク命シアルモ二十二日夜ニ於ケル關東地方颱風ノ爲鐵道道路

ニ損害ヲ受ケテ軍隊ノ移動遲滞シアリ

然レトモ貴方ノ要求事項(「マニラ」ニ於テ日本代表ニ手交セルモノ)第三號ノ三ニ示ス時刻迄ニハ軍隊ノ撤退ヲ確實ニ終了スルモノト認メアリ

ニ、右第一次撤退地域内ニハ治安維持ノ爲ノ警察官及憲兵及海軍憲兵隊並ニ撤退部隊ノ残置セル軍需品ノ監守ノ爲ノ非武装兵ヲ殘留シアリ

三、在本土帝國陸海軍部隊ハ逐次復員スル如ク措置シアリ

1218 昭和20年8月24日 大本營より  
連合国最高司令官宛(電報)

滑走困難な厚木飛行場内の状況につき報告

大本營 8月24日發

往電第三八號

厚木飛行場ハ二十二日夕刻ヨリノ降雨ニ依リ現在ノ所滑走路ニ對スル双發爆撃機又ハ双發輸送機ノ着陸可能ナルモ滑走路(Gravel)以外ノ飛行場内ハ車輪メリ込ミ地上滑走困難ナリ爲念

1219 昭和20年8月25日 大本營より  
連合国最高司令官宛(電報)

連合国軍先遣隊の安導について

大本營 8月25日發

往電第四五號

一九四五年八月二十六日午前九時頃厚木飛行場ニ着陸スヘキ合衆國制定標識ヲ附シタル航空機約四八機ニテ輸送セラル約一五〇名ヨリナル先遣隊ノ安導ニ關シテハ我方往電第三八號ニ依ル通報事項以外之ヲ保障ス尙着陸スヘキ滑走路ノ中央附近ニハ吹流ヲ掲揚シ之ヲ標示ス

1220 昭和20年8月25日 連合国最高司令官より  
日本政府宛(電報)

連合国軍先遣隊に対する有線及び無線施設の提供について

提供について

日本政府 8月25日着

來電第一六號

聯合國最高司令官代理カ八月二十六日其ノ先遣隊ヲ伴ヒテ到着シタル時適當ナル官憲カ現場ニ在リテ要求事項第三號

別紙甲ニ含まレサリシ或種ノ有線及無線通信施設ノ提供方ニ付指示ヲ受ケラルルヤウ致シ度特ニ要求セラルヘキ施設ハ左ノ如シ

(イ)東京地區ニ於ケル聯合國最高司令官及幕僚ト日本政府及大本營トノ間ノ通信ニ要スル有線電話及有線電信施設

(ロ)聯合國最高司令部カ日本政府及其ノ諸機關ノ國際無線電信電話「ラヂオ・テレフォン」及「ラヂオ」放送施設ニ直接連絡シ得ル如キ有線回線施設

右ハ必要ニ應シ前記施設ヲ聯合國最高司令部ヨリ直接運轉スルヲ得シムルモノナリトス

1221 昭和20年8月25日 連合國最高司令官ヨリ  
大本營宛(電報)

日本への要求事項で定められた日程の延長について

大本營 8月25日着

來電第一七號

至急

一九四五年八月二十日「マニラ」ニ於テ日本國代表ニ對シ

提出セラレタル「聯合國最高司令官ノ要求」文書八月二十六日及其レ以後ニ定メラレタル全日程ハ四十八時間延期セラル可シ、繰返ス四十八時間延期セラルベシ、回答ヲ待ツ

1222 昭和20年8月25日 大本營ヨリ  
連合國最高司令官宛(電報)

要求事項で定められた日程延長を了承について

大本營 8月25日発

往電第五〇號

天候ノ爲一九四五年八月二十日「マニラ」ニ於テ日本國代表ニ提示セラレタル「聯合國最高司令官要求」中ニ於テ八月二十六日及其ノ後ニ定メラレタル全日程ハ四十八時間延期セラルヘシトノ八月二十五日至急電了承ス

1223 昭和20年8月27日 日本政府ヨリ  
連合國最高司令官宛(電報)

終戦連絡中央事務局の設置につき報告

付記 作成日、作成局課不明

「終戦連絡事務局ニ關スル説明振」

往電第五七號

日本政府 8月27日發

貴司令部要求文書第三號別紙甲中ニ規定セラレアル中央機關樹立セラレ連絡中央事務局ノ名稱ノ下ニ活動ヲ開始スル事トナレリ。

右事務局ニ關聯シ次ノ任命行ハレタリ

長官 岡崎 勝男  
部長 成田 勝四郎

竹内(兼) 龍次

太田 三郎

倭島 英二

新事務局ハ次ノ事項ヲ管掌ス

- 1、總務
- 2、軍事、政治其ノ他右ニ關聯アル事項
- 3、賠償、經濟的調整、聯合軍ニ對スル施設及通信便宜  
供與
- 4、俘虜抑留者ニ關スル事項

(付記)

終戰連絡事務局ニ關スル説明振

一、聯合軍要求第三號別紙甲號七、ノ機關トノ關係

本事務局ハ聯合國側要求ノ機關ト同一ナルモノトス、但シ本事務局ノ中央事務局ハ先方要求ノ「中央機關」ヨリモ廣汎ナル事務ヲ掌ルモノナルヲ以テ中央事務局ニ關スル限り其ノ一部カ「中央機關」ニシテ殘部ハ外務省固有ノ機關タルノ性質ヲ有スル次第ナリ

二、終戰事務連絡委員會トノ關係

外務大臣カ本事務局ヲ運用シ聯合國側ト連絡スルニ當リテハ終戰處理會議ノ下部機構タル終戰事務連絡委員會ト密切ニ連繫ヲ保ツヘク前者ハ主トシテ窓口業務ニ當リ後者ハ主トシテ大本營政府ノ業務分擔ノ確定及根本方針ノ審議ニ當ルモノトセハ好都合ナリ

而シテ委員會ノ庶務ハ外務省ノ掌ル所トスルコト適當ト認ム

三、各廳トノ關係

本事務局ハ聯合國トノ連絡ニ關シテハ責任ヲ負フモノナルモ先方要求ノ實施ニ付テ國內のニハ必スシモ權限ヲ有スル次第ニ非ス、即チ關係各廳ハ其ノ主管事項ノ實施ニ

關シテハ固有ノ權限ニ基キテ之ヲ爲スモノトス

從ツテ本事務局ハ動モスレハ、對外的ニノミ責任ヲ負ヒ對內的ニハ何等發言權、實行力ヲ有セサル所ノ遊離セル存在トナル懼アリ仍テ關係各廳トノ關係ニ付テハ一面前

記ニ、連絡委員會運用宜シキヲ得ルト共ニ他面各廳(陸海軍ヲ含ム)ヨリ有能ナル擔當官ヲ積極的ニ本事務局ニ入ルルコトヲ特ニ希望ス、右各廳擔當官ハ連絡事務局官制第八條末項ノ「連絡官」タルモノトス

#### 四、現ニ内務省内ニ在ル連絡委員會幹事會トノ關係

現ニ内務省内ニ於テ開催中ノ連絡會議ハ終戰連絡會議ノ幹事會ノ如キ性質ヲ有スル建前ナルヘキモ實際ハ八月三十一日迄ニ應急の事務ノ處理ニ當リ居ル次第ナルヲ以テ終戰連絡事務局ノ發足ト共ニ之ヲ改組シ前記ニ、ノ如ク主トシテ大綱ノ連絡ニ當ル委員會ノ姿ニ立歸ルト共ニ現ニ幹事級トシテ活躍中ノ各廳職員ハ前記ニ、ノ如ク成ル可ク終戰連絡事務局内ニ吸收スルコト望マシ

#### 五、厚木、横濱、鹿屋機關トノ關係

此等機關ハ臨時的性質ノモノニシテ本事務局發足ニ伴ヒ概ネ八月三十一日ノ業務終了ト共ニ本事務局ノ現地機構

ニ引續カルヘキモノナリ、但シ實際問題トシテハ軍事關

係事項ニ付テハ軍側ト先方トノ現地ニ於ケル直接接觸ハ先方亦之ヲ拒ミ居ラサルニ付出先軍側ニ於テモ其ノ積リニテ對處セラレンコトヲ要請スル次第ナリ



1224

昭和20年8月30日

連合国最高司令官より  
日本政府宛(電報)

#### 鹿屋地域への進駐日程変更について

日本政府 8月30日午前3時00分着

來電第三七號

鹿屋地域進駐ニ關シ

行動ノ改正日時左ノ如シ

先遣隊ハ一九四五年九月三日、主力部隊ハ九月四日上陸スヘシ。

依ツテ日本船ハ一九四五年九月三日遅クトモ午前六時迄ニ南九州ノ佐多岬ヨリ二七〇度二〇哩ノ附近ニ於テ合衆國ノ海軍部隊ニ邂逅シ該部隊ヲ鹿兒島灣ニ導入スルコトヲ望ム、日本船ニハ通譯者(複數)ト共ニ八人ノ水先案内ヲ準備シ置クヘシ、前記指令ハ一九四五年八月二十日「マニラ」ニ於

テ日本國代表ニ手交セラレタル「要求事項」第四號文書第九節ノ條項ニ代ルモノナリ。接受確認アリ度

1225

昭和20年8月31日 宮崎(周一)中將  
サザラランド中將 會談

連合軍進駐等に関する宮崎中將とサザラ

ンド中將との會談要旨

付記一 昭和二十年八月三十一日手交

「聯合國最高司令官ニ對スル事前了解取付事項」

二 昭和二十年八月三十一日付

右事前了解取付事項に對する連合軍側の諒解について

三 昭和二十年八月二十九日付、宇山(厚)外務事務官作成

「連合軍先遣隊厚木到着ノ狀況等報告」

宮崎中將「スーザラランド」中將會談要旨

一、時 昭和二十年八月三十一日午前十一時ヨリ午後一時

マテ

二、場所 聯合軍總司令部參謀長室

三列席者 (日本側)宮崎中將 横山少將 杉田大佐

有末中將

(聯合國側)參謀長「スーザラランド」中將、

「モンソン」大佐

通譯者 外務省員一名 陸軍將校一名

四要旨

(宮)……我軍ノ武装解除其他要求事項等カ廣大ナル地域ニ亘ル數百萬ノ日本陸海軍ノ間ニ整然ト行ハレ居ルハ奇蹟的ト感セラル：

(ス)日本軍ノ軍紀嚴肅ナルニ依ル

(宮)軍紀ノ外ニ我國體ニ基ク所有リ更ニ國體ノ外ニ幾多ノ特別ナル手段採ラレタルコトヲ諒解セラレ度シ例ヘハ玉音放送、宮殿下ノ海外御派遣、總理大臣軍部大臣ノ屢次ノ放送並訓示、特攻隊ニ對スル處置等ノ如シ……日本カ降伏ニ依ル一切ノ要求ヲ誠實ニ整然ト且速急ニ實行スル爲ニハ敗者タル日本ノ獨力ニテハ足ラス勝者タル聯合國側ノ深甚ナル理解ト援助トヲ必要トス之カ爲ニハ先ツ日本國內及海外ノ軍隊及國民ノ實情ヲ十分ニ認識セラレ度茲ニ「マニラ」ニ



於ケル會合以後今日迄ノ軍事一般ノ狀況中差當リ必要ナル事項ヲ横山少將及杉田大佐ヲシテ報告セシムル次第ナリ

(ス)報告ヲ受クルハ欣快トスル所ナルカ當方トシテハ差當リ次ノ希望有リ。即厚木ノ飛行場ハ滑走路ノ損傷ニ依リ多數ノ飛行機ノ着發不可能ナルヲ以テ第一次進駐區域ノ北部境界線ヲ少シク變更シ調布飛行場並立川附近ノ三飛行場ヲ使用致シ度シ之ガ爲速ニ先發隊ヲ派シ檢分セシメ度シ

(宮)右ハ上司ニ連絡シ御返答スヘシ(後ニ「先發隊カ本日中ニ出發スルコトハ不可能ナルモ明日ハ出發シ得ル様致スヘシ」ト確言)

(ス)次ニ厚木飛行場附近ニハ小銃ヲ携ヘタル日本兵殘留シ居ル所之ヲ進駐區域外ニ撤退セシメ得ザルヤ

(宮)右ハ兵ニ非スシテ憲兵ナルカ小銃ハ許サレタル小火器ト認メテ携行ヲ許シ居レリ

(ス)予ハ今日迄日本カ採リタル處置ヲ非難セントスルモノニ非ス唯空挺部隊ハ第一線ヨリ直接來ル部隊ニシテ興奮シ易キニ依リ日本兵ト直接接觸スルコトヲ心

配シ居ル次第ナリ

(宮)御説ニハ全然同感ニシテ上司ト協議ノ上然ルヘク處置スヘシ

(ス)次ニ關東地方ニ於ケル日本軍ノ撤退或ハ復員狀況ニ關シ承知致シ度シ(杉田大佐地圖ニ依リ説明)

(ス)關東地方ニ於ケル撤退ハ何時完了スルヤ

(宮)十月十日迄ニハ日本全國ノ復員カ完了スル筈ナリ

(ス)最高統帥部カ左様ニ速ニ復員ヲ完了シ得ルハ結構ナリ

之ヨリ杉田大佐國內ニ於ケル俘虜ノ狀況並各地ノ軍事情勢ヲ説明。詳細ニシテ長時間ニ亘リタルモ「ス」ハ終始辛抱強ク溫顔ヲ以テ聽取セリ其間時々左ノ如キ感想ヲ述ヘ或ハ質問ヲ發シタリ

(一)山下大將ニハ受信機二個ヲ贈リタルヲ以テ中央トノ連絡可能ナル筈ナリ

(二)南方諸島トノ有線連絡ハ可能ナリヤ

(三)内地本年ノ收獲(獲カ)ハ如何

(四)最近ノ情報ニ依レハ重慶ト中共トノ間ニ會談進行中ナル趣ニシテ且蘇聯モ中央軍ヲ支持スルヤノ趣ナルヲ以

テ滿蒙方面ノ事態ハ次第二明確トナルヘシ

(五)日本船舶ノ航行禁止ハ米國艦隊カ行動中ノ危險ヲ防止スル爲ノ手段ナルヲ以テ降伏文書調印後ハ解除セラレヘシ當方ノ推測ニ依レハ日本ハ千噸以上ノ船舶百萬噸ヲ所有シ居ル筈ナリ之ヲ補給其他ノ用途ニ使用セラレテ差支無シ(宮崎中將ヨリ保有屯數ハ七八十萬ニシテ使用ニ堪フルハ三四十萬屯ナリト説明)

(六)離島ニ分散セル日本軍ノ困難ナル情況ハ良ク承知シ居レリ

(七)大陸ノ部隊ニ輸送ノ優先ヲ與フルヲ要スヘシ

(八)日本側カ連絡ノ爲飛行機ヲ使用セラルルニ付テハ當方ニ於テ充分ナル連絡ヲ必要トス然ラサレハ當方ノ戦闘機ニ依リ擊墜セラルル虞有リ使用飛行場其他必要事項ヲ明示シテ申出ラレ度シ(杉田大佐ヨリ「モンソン」大佐ニ後刻説明有リタル筈)

右報告終リ宮崎中將ヨリ了解取附事項英譯ヲ手交シ閱讀ノ上何分ノ儀回示有リ度旨希望シテ會見ヲ終ル

(付記一)

聯合國最高司令官ニ對スル事前了解取附事項

帝國政府及大本營ハ 聖旨ヲ体シ降伏文書及一般命令ノ諸條項ヲ誠實ニ履行シ聯合國軍ノ進駐竝ニ帝國軍隊ノ武裝解除及撤收ヲ圓滑ニ實現セントノ眞摯ナル希望ニ基キ右諸條項ノ實施ニ關聯シ不取敢左ノ諸點ニ付豫メ聯合國最高司令官ノ了解ヲ得置カント欲スルモノナリ

第一、軍事

一、根本原則

聯合國側ノ要求ヲ迅速且合理的ニ實施スル爲左記二點ヲ重視ス

(イ)聯合國軍ノ進駐、日本國軍隊ノ武裝解除ハ流血ヲ避ケ平和裡ニ實行スルヲ第一義トスルコト

(ロ)在外日本國軍隊ノ武裝解除及撤收ハ各地域ノ實情ニ即シ合理的ニ行ハルヘキコト

二、在外日本國軍隊ノ撤收

在外日本國軍隊ノ撤收ニ付テハ(イ)派遣兵力大ニシテ且廣地域ニ亘リ居ルコト(ロ)派遣地域ニ在ル在留邦人ノ多數ナルコト(ハ)撤收地域ニハ治安不良ナル方面アルコト及(ニ)撤收ノ爲ノ輸送機關特ニ船舶ノ不足著シキコト等

困難ナル諸事情アルコトヲ了解セラレタシ

右特殊事情ニ鑑ミ日本國軍隊ノ撤收ハ聯合國側ノ深甚ナル理解ト積極的援助ヲ俟チ左ノ如ク實施スルコトト致度

(イ)撤收兵力輸送ノ順位ハ給養逼迫セル地域ニ在ル者及傷病者ヲ優先セシムルコト

(ロ)地域の順位ハ滿洲、支那大陸、比島、太平洋諸島嶼、濠北方面、次テ南方爾他諸地域トスルコト

(ハ)撤收長期ニ亘ル地域ニ於テハ撤收完結迄各地域毎ニ安全居住地帯ヲ設定スルコト

(ニ)撤收完了迄派遣軍將兵ノ給養確保ノ爲聯合國側ニ於テ斡旋、援助ヲ與ヘラレタキコト

### 三、日本國軍隊ノ武裝解除

(イ)武裝解除ハ日本國軍隊ニ於テ自主的ニ之ヲ行ヒ解除セル武裝ヲ特定地點ニ集積シ之ヲ一括聯合國側ニ引渡スヲ原則トスルコト

(ロ)在外派遣軍ノ武裝解除ノ秩序的、段階的實施ニ付彼我司令官ノ間ニ地域の協定ヲ遂クルノ餘地ヲ認ムルコト

(ハ)支那、蒙疆、滿洲、朝鮮、臺灣等治安不良ニシテ撤

收長期ニ亘ル地域ニ在リテハ武裝解除後ニ於テモ在留邦人、非武裝軍人ノ保護ニ必要ナル武裝警察力ノ存置ヲ認ムルコト

右警察力ノ存置ハ軍隊及在留邦人ノ撤收完了ノ時又ハ聯合軍正規部隊ニ依ル治安確立ノ時迄トスルコト

(ニ)蒙疆及北支方面所在ノ日本國軍隊ノ武器ハ蔣介石大元帥ノ指定スル司令官ニ引渡スコトトナリ居リ且日本側ハ之ヲ實行シタキ意向ナルモ該方面ニ在ル蘇聯

邦軍等ヨリ武裝解除乃至引渡ヲ強要サルル場合ニ於テハ無用ノ紛爭ヲ避クル爲已ムヲ得ス之ニ應スルコトアルヘキコト

(ホ)日本國所屬船舶不足ニ鑑ミ且在外派遣軍ノ撤收ヲ迅速ナラシムル爲出來得ル限り多量ノ船腹ヲ聯合國側ヨリ提供セラレタキコト

(ハ)武裝解除後ニ於ケル第一線將兵ノ取扱ハ軍人ノ名譽ヲ重ンスル如クスルコト(例ヘハ海牙條約ノ認ムル將校ノ帶劍等)

四、其ノ他

(イ)外地ニ於ケル撤收、武装解除、復員、移動、輸送、軍需品及之カ生産施設ノ處理等純軍事關係措置事項ハ其ノ完結迄努メテ軍ノ現機構ト軍政的組織トヲ利用スルコト

又右實施ニ必要ナル通信、連絡及輸送機關ハ最後迄之ヲ確保シ命令傳達ニ支障ナカラシムルコト

## 第二、治安

日本本土ハ戰爭特ニ爆撃ノ被害、降伏ニ伴フ人心ノ衝擊ノ甚大ナルコト竝ニ食糧其ノ他生活物資ノ急迫等ニ基キ治安ノ維持ハ困難ナル事態ニ逢着シ居ル事實ニ付聯合軍當局ノ深甚ナル注意ヲ喚起シタシ

右事態ノ下ニ於テ行ハルル聯合軍ノ進駐及駐屯ニ際シ無用ノ紛争ノ發生ヲ防止スル爲左記事項ニ付特ニ最高司令官ニ於テ格段ノ考慮ヲ拂ハレンコトヲ希望ス

一、國內治安維持ノ困難ナル任務ヲ擔當スル警察隊及憲兵隊ノ職務、權限ヲ尊重セラレ且之ニ協力セラレタキコト

二、聯合軍將兵ノ日本民衆ニ對スル直接ノ接觸ハ努メテ避ケラレタキコト、人口密集區域ヘノ聯合軍將兵ノ進入

ハ努メテ避ケラレタク萬一其ノ要アルトキハ必ズ統卒<sup>(軍)</sup>者及通譯ヲ附セラレタキコト

三、聯合軍將兵ノ娛樂、慰安施設ニ付テハ日本側ハ出來得ル限り協力スベク、右將兵ノ日本側娛樂、慰安施設ヘノ出入ハ努メテ避ケラレタキコト

四、聯合軍將兵ト日本側官民トノ間ニ言語不通等ノ爲萬一紛争生セル場合ハ直ニ日本側聯絡機關ニ聯絡セラレタク日本人ニ對スル直接處分ハ差控ラレタキコト

## (付記二)

我方「事前了解取付事項」ニ對スル聯合國最高司令  
部ノ諒解

昭二〇、八、三一

當方提出覺書ニ對シ殆ンド全面的ニ諒解セシモ欄外ニ「サ  
ザーランド」參謀長自ラ所要ノ註記ヲナシアリ内容左ノ如  
シ

## 第一 軍事

一、根本原則中

(ロ)ニ對シ「然リ、責任アル聯合國指揮官ノ指示ニ從ツ

テ實施セラルルコト」

二、在外日本國軍隊ノ撤收中

(イ)ニ對シ「當前ノ事ナリ」

(ハ)ニ對シ「方面毎ノ指揮官ニ依リ協議スルコト」

(ニ)ニ對シ「應セラルヘシ」

三、日本國軍隊ノ武裝解除

(イ)ニ對シ「後刻指示スル命令中ニ包含セラルヘシ」

「武器ハ日本軍之ヲ集メ然ル後引渡スコト」

(ロ)ニ對シ「基本事項ハ詳細ニ亘リ方面毎ノ指揮官ニ依リ調整セラル」

(ハ)ニ對シ「方面毎ノ指揮官ニ依リ協議スルコト」

四、其ノ他ニ對シ

「方面毎ノ指揮官ニ依リ協議スルコト」

## 第二 治安中

一、ニ對シ「援助スヘシ」

四、ニ對シ「通常ノ手續ナリ」

## (付記二)

聯合軍先遣隊厚木到着ノ狀況等報告

昭二〇、八、二九、宇山

一、八月二十八日午前八時二十分聯合軍先遣隊一番機到着、爾後十一時半頃迄ニ先遣隊全員百四十六名(内三十名ハ士官)到着セリ

先方要求事項中先遣隊到着後直ニ行ハルヘキ情報ノ提供ハ正午頃ヨリ午後十時頃迄ノ間ニ七分科會ニ分レテ行ハレタリ。問題トナリタル點左ノ通り。

(一)俘虜收容所、抑留所 問題ナシ。

(二)飛行場 先方ハ鮮明ナル航空寫眞ニ依ル厚木飛行場ノ地圖ヲ有シ、三ヶ所ニ於テ二十九日午後六時迄ニ滑走路ノ補強工事ヲ要求ス。(厚木海軍部隊直ニ着手セリ)

(三)通信 先方ハ「ラヂオ」發信施設ヲ要求シ、我方カ五百ワットノモノナラバ比較的早ク提供シ得ヘシト云ヘルニ對シ五〇〇「ワット」ニテハ充分ナラスト云フ。

先方占領軍部隊カ多數到着セル後之ニ對スル「ラヂオ」放送ヲ行フ心組ヲ有スルニ非スヤトノ印象ヲ受ケタリ。更ニ「テレタイプライター」、横濱厚木間ノ電話施設(充分明瞭ニ會話シ得ルモノ)ヲ要求セリ。後者ニ關シテハ遞信院ニ於テ施設濟ナルモ電線、受話器ノ狀態不

良ニテ先方ノ要求ヲ満足スルニ足ラサルモノナル虞アリ。(遞信院ニ改良方要求濟)

(四)港灣、道路 我方ニ於テ準備セル資料不充分ニテ二十九日一定時迄ニ再提出ヲ要求セラル。先方ノ特ニ要求セル事項ハ横濱港中一萬屯以上ノ船舶ヲ繫留スル岸壁、夫以下ノモノ、岸壁附近ノ貯油設備、倉庫等ニ關スル具體的數字。道路網<sup>(編カ)</sup>ヲ示ス地圖(距離、道路輔裝<sup>備カ</sup>狀態ヲ記入セルモノ)——道路中就中厚木ト横濱、茅ヶ崎等ヲ結ブ各種數本ノ道路ニ付特ニ關心ヲ示セリ。

(五)宿舎、給養 我方ニ於テ準備セル宿舎ノ建坪等ノ説明不充分ナリシモ現場視察ノ結果先方ハ大体満足セリ、宿舎ニ付テハ建物、浴室、便所、洗濯場、炊事場等ノ施設ヲ要求スルモ「ベッド」、蚊帳、毛布、「シーツ」等ハ持參スヘシトテ關心ヲ示サス。但先遣隊百五十名分ニ付九月二日迄オ世話アリ度シト云ヘリ。

食事ハ我方ニ於テ先遣隊ノ爲用意セルモノハ満足ト云フ。此ノ點モ先遣隊百五十名カ九月二日迄ノ間要求スルノミニテ其後ハ不要、主力ハ上陸ノ最初ヨリ凡テ自給スヘシト云ヘリ。

唯給水ニ付テハ多大ノ關心ヲ示シ水源、水質ノ分析研究ノ結果、厚木村ノ井水等ニ付情報ヲ要求シ我方、二十九日正午迄ニ準備スル筈。

結局食事ニ關シテ先方ノ要求スルノハ(九月二日以後ハ)水ノミナルモノノ如シ。

(六)總司令部區域 大体ニ於テ我方ノ提供セル地圖及數字ヨリ判斷セハ我方ノ準備ヲ満足ナリト述ブ、但シ最後の決定ハ最高司令官ニ依リテ決セルヘク、先方ノ「要求事項」ニハ明示ナキモ先任將官一名(最高司令官及參謀長以外ノモノ)ノ爲各々獨立家屋ヲ準備スヘキ旨要求セリ

尙鎌倉、逗子、葉山方面ノ洋風水洗便所附家屋ノ數及其收容能力調査方依頼スル旨附言セリ

(七)輸送 自動車運轉手中民間ノモノハ出來ル丈長ク雇傭シタキモ軍ヨリ供出セル自動車ノ軍人タル運轉手ノ復員ニ付テハ充分考慮スト言明セリ

(八)治安 横濱憲兵司令官概略説明セルカ海軍保安隊及警察ニ付テハ夫々其ノ長ヨリ説明ヲ受ケ度旨及東京灣地區各部隊ノ位置、員數、裝備ノ説明ヲ要求セリ

二、第一先遣隊長ノ説明ニ依レハ彼等ハ第八軍ニ屬シ同軍ハ厚木以北、北海道迄ヲ擔當スト言フ。(我カ軍側ノ計算ニ依レハ第八軍ハ九ヶ師ニテ二十萬位カトイフ)片瀨ニ一ヶ師上陸ストノ情報アル由。

三、「マツカーサー」ハ八月三十日厚木到着、飛行場内「テント」ニテ記者會見、小憩ノ上直ニ横濱ニ赴ク由。同行ノ兵ハ同日千名位、三十一日、一日各々約一千名宛横濱ニ赴クコトナルヘキ由。

四、全般的ニ先遣隊百五十名ハ何レモ極メテ能率的ナル七名ノ大佐(指揮官「テンチ Tanchi」大佐、以下飛行、補給、通信、道路港灣、等ノ専門家ナル模様)ニ統率セラレ居リ、二十八日夕刻迄ニ無電、夜間着陸設備等施設シ、能率的ニ活動ヲ開始セリ、而シテ厚木ニ於ケル情勢把握ニ努メ居レリ